

点検写真台帳(全景)

管理番号

1

所在施設名	鹿沼公園	住所	中央区鹿沼台2丁目15番
		点検日	2025年12月15日

園名板



公園全景



製 品 調 書

所在施設名	鹿沼公園	管理番号 1	住 所	中央区鹿沼台2丁目15番
-------	------	-----------	-----	--------------

管理番号	製 品 名	構造部材	製造社	シール有無／対象年齢 備考
		消耗部材	設置年月	
1	鉄棒(落下高さ1500mm以下)	鉄	日都産業(株)	無/不明
	3間低鉄棒		不明	
2	ジャングルジム	鉄	日都産業(株)	有/6歳~12歳
	ジャングルジム		不明	
3	スプリング遊具(着座型)	鉄	(株)コンパン・プレイ	有/3歳~6歳
	スプリング遊具(トリ)	スプリング	スケープ 不明	
5	コンクリート製遊具	コンクリート/鉄	不明	無/不明
	コンクリートすべり台		不明	
6	一方向ブランコ	鉄	日都産業(株)	無/不明
	4連ブランコ	吊り金具/吊り部材/着座部	不明	
7	ブランコ柵	鉄	不明	無/不明
	ブランコ境界柵		不明	
8	ポーター型砂場	コンクリート	不明	無/不明
	丸型砂場	砂	不明	
9	すべり台	鉄/合成樹脂	(株)コトブキ	有/3歳~6歳
	並列すべり台		2006年07月	
10	動物(固定型)	コンクリート	不明	無/不明
	動物置物(ウサギ、カートコース側)		不明	
11	動物(固定型)	コンクリート	不明	無/不明
	動物置物(ウサギ、砂場側)		不明	
12	動物(固定型)	コンクリート	不明	無/不明
	動物置物(ラクダ、カートコース側)		不明	
13	動物(固定型)	コンクリート	不明	無/不明
	動物置物(ラクダ、パーゴラ脇)		不明	
14	動物(固定型)	コンクリート	不明	無/不明
	動物置物(クジラ、東)		不明	
15	動物(固定型)	コンクリート	不明	無/不明
	動物置物(クジラ、西)		不明	
16	動物(固定型)	コンクリート	不明	無/不明
	動物置物(クマ、青)		不明	

製 品 調 書

所在施設名	鹿沼公園	管理番号	住 所	中央区鹿沼台2丁目15番
		1		

管理番号	製 品 名	構造部材	製造社	シール有無／対象年齢 備考
		消耗部材	設置年月	
17	動物（固定型）	コンクリート	不明	無/不明
	動物置物（クマ、緑）		不明	
18	動物（固定型）	コンクリート	不明	無/不明
	動物置物（カメ）		不明	
19	動物（固定型）	コンクリート	不明	無/不明
	動物置物（アシカ）		不明	
20	動物（固定型）	コンクリート	不明	無/不明
	動物置物（カニ）		不明	
21	動物（固定型）	コンクリート	不明	無/不明
	動物置物（カニ、西側駐車場脇）		不明	
22	動物（固定型）	コンクリート	不明	無/不明
	動物置物（タコ、西側駐車場脇）		不明	
23	動物（固定型）	コンクリート	不明	無/不明
	動物置物（白鳥、西側駐車場脇）		不明	
24	動物（固定型）	コンクリート	不明	無/不明
	動物置物（クジラ、北、カートコース脇）		不明	
25	動物（固定型）	コンクリート	不明	無/不明
	動物置物（クジラ、南、カートコース脇）		不明	
26	動物（固定型）	コンクリート	不明	無/不明
	動物置物（パンダ、北、カートコース脇）		不明	
27	動物（固定型）	コンクリート	不明	無/不明
	動物置物（パンダ、南、カートコース脇）		不明	
28	動物（固定型）	コンクリート	不明	無/不明
	動物置物（タコ、カートコース脇）		不明	
29	動物（固定型）	コンクリート	不明	無/不明
	動物置物（白鳥、カートコース脇）		不明	
30	動物（固定型）	コンクリート	不明	無/不明
	動物置物（サカナ、カートコース脇）		不明	
31	動物（固定型）	コンクリート	不明	無/不明
	動物置物（カメ、西側入口脇）		不明	

製品調書

所在施設名

鹿沼公園

管理番号

1

住所

中央区鹿沼台2丁目15番



1 3間低鉄棒



2 ジャングルジム



3 スプリング遊具（トリ）



5 コンクリートすべり台



6 4連ブランコ



7 ブランコ境界柵



8 丸型砂場



9 並列すべり台



10 動物置物（ウサギ、カートコース側）



11 動物置物（ウサギ、砂場側）



12 動物置物（ラクダ、カートコース側）



13 動物置物（ラクダ、パーゴラ脇）

製品調書

所在施設名

鹿沼公園

管理番号

1

住所

中央区鹿沼台2丁目15番



14 動物置物 (クジラ、東)



15 動物置物 (クジラ、西)



16 動物置物 (クマ、青)



17 動物置物 (クマ、緑)



18 動物置物 (カメ)



19 動物置物 (アシカ)



20 動物置物 (カニ)



21 動物置物 (カニ、西側駐車場脇)



22 動物置物 (タコ、西側駐車場脇)



23 動物置物 (白鳥、西側駐車場脇)



24 動物置物 (クジラ、北、カートコース脇)



25 動物置物 (クジラ、南、カートコース脇)

製品調書

所在施設名	鹿沼公園	管理番号	住所	中央区鹿沼台2丁目15番
		1		



26 動物置物（パンダ、北、カートコース脇）



27 動物置物（パンダ、南、カートコース脇）



28 動物置物（タコ、カートコース脇）



29 動物置物（白鳥、カートコース脇）



30 動物置物（サカナ、カートコース脇）



31 動物置物（カメ、西側入口脇）



32 動物置物（サカナ、西側入口脇）

点検総括表

所在施設名	鹿沼公園	管理番号	1	住所	中央区鹿沼台2丁目15番	
点検日	2025年12月15日			点検社		
点検者				確認者		
管理番号	製品名	機能判定			特記事項	塗装判定
		総合判定	使用	劣化 ハザード		
1	3間低鉄棒	B	可	B	ボルト突起	C
				2		
2	ジャングルジム	B	可	B	ボルト突起	C
				2		
3	スプリング遊具（トリ）	B	可	B	スプリング推奨交換年数超過の可能性 手足指の挟み込みの恐れあり	A
				2		
5	コンクリートすべり台	C	不可	C	頭部挟み込みの恐れあり 本体部 亀裂・破損あり	-
				3		
6	4連ブランコ	D	不可	D	ブランコ柵近接 杭突起に衝突の恐れあり 基礎露出 継手金具 腐食あり 吊り部材 摩耗あり	C
				2		
7	ブランコ境界柵	B	可	B	安全領域内設置	C
				2		
8	丸型砂場	C	可	C	砂 枯葉混入	-
				0		
9	並列すべり台	B	可	B		C
				1		
10	動物置物（ウサギ、カートコース側）	B	可	B		-
				1		
11	動物置物（ウサギ、砂場側）	B	可	B		-
				0		
12	動物置物（ラクダ、カートコース側）	B	可	B		-
				1		
13	動物置物（ラクダ、パーゴラ脇）	B	可	B		-
				1		

（総合判定基準）

A：健全であり、修繕の必要がない（使用可）

B：部分的に異常があり、部分修繕が必要（使用可）

C：重要な箇所に部分的な異常があり、部分修繕が必要（使用不可、場合により使用可）

D：最重要部材等に異常があり、大規模な修繕または破棄し更新が必要（使用不可）

点 検 総 括 表

所在施設名	鹿沼公園	管理番号	1	住 所	中央区鹿沼台2丁目15番	
点検日	2025年12月15日			点検社		
点検者				確認者		
管理番号	製 品 名	機能判定			特 記 事 項	塗装判定
		総合判定	使用	劣化 ハザード		
14	動物置物（クジラ、東）	B	可	B 0		-
15	動物置物（クジラ、西）	B	可	B 1		-
16	動物置物（クマ、青）	B	可	A 1		-
17	動物置物（クマ、緑）	B	可	B 1		-
18	動物置物（カメ）	B	可	B 0		-
19	動物置物（アシカ）	B	可	B 0		-
20	動物置物（カニ）	B	可	B 0		-
21	動物置物（カニ、西側駐車場脇）	B	可	B 1		-
22	動物置物（タコ、西側駐車場脇）	C	可	C 2	スツール近接 本体部 亀裂あり	-
23	動物置物（白鳥、西側駐車場脇）	C	可	C 2	マンホール近接 本体部 傾きあり	-
24	動物置物（クジラ、北、カートコース脇）	B	可	B 1		-
25	動物置物（クジラ、南、カートコース脇）	B	可	B 1		-

（総合判定基準）

A：健全であり、修繕の必要がない（使用可）

B：部分的に異常があり、部分修繕が必要（使用可）

C：重要な箇所に部分的な異常があり、部分修繕が必要（使用不可、場合により使用可）

D：最重要部材等に異常があり、大規模な修繕または破棄し更新が必要（使用不可）

点検総括表

所在施設名	鹿沼公園	管理番号	1	住所	中央区鹿沼台2丁目15番	
点検日	2025年12月15日			点検社		
点検者				確認者		
管理番号	製品名	機能判定			特記事項	塗装判定
		総合判定	使用	劣化 ハザード		
26	動物置物（パンダ、北、カートコース脇）	C	可	C	本体部 破損あり	-
				0		
27	動物置物（パンダ、南、カートコース脇）	C	可	C	本体部 破損あり	-
				0		
28	動物置物（タコ、カートコース脇）	C	可	C	本体部 破損あり	-
				0		
29	動物置物（白鳥、カートコース脇）	B	可	B		-
				1		
30	動物置物（サカナ、カートコース脇）	B	可	B		-
				1		
31	動物置物（カメ、西側入口脇）	B	可	B		-
				1		
32	動物置物（サカナ、西側入口脇）	B	可	B	側溝近接 杭の突起に衝突の恐れあり	-
				2		

(総合判定基準)

A：健全であり、修繕の必要がない（使用可）

B：部分的に異常があり、部分修繕が必要（使用可）

C：重要な箇所に部分的な異常があり、部分修繕が必要（使用不可、場合により使用可）

D：最重要部材等に異常があり、大規模な修繕または破棄し更新が必要（使用不可）

鉄棒(落下高さ1500mm以下)定期点検表

管理番号 1

製品名	3間低鉄棒	所在施設名	鹿沼公園	住所	中央区鹿沼台2丁目15番
点検社				点検日	2025年12月15日
点検者				確認者	
製造者	日都産業(株)	SPシール	無・有 ()	製造番号	
設置年月	年 月	経過年月	年 月	最大落下高さ	1,370 mm
構造部材1	鉄	構造部材2		消耗部材	
対象年齢シール	無・有	対象年齢	1歳～3歳 ・ 3歳～6歳 ・ 6歳～12歳 ・ 3歳～12歳 ・ 大人		

I. 機能に関する総合判定		II. 塗装に関する総合判定	
使用継続	A: 健全であり、修繕の必要がない B: 部分的に異常があり、部分修繕が必要 C: 重要な箇所部分的に異常があり、部分修繕が必要 D: 最重要部材等に異常があり、大規模な修繕または破棄し更新が必要	A: 再塗装の必要がない B: 部分的に塗装が必要 C: 全体的に塗装が必要	
可・不可			

ハザード	0: 傷害をもたらす物的ハザードがない状態 1: 軽度の傷害をもたらす状態 2: 重大であるが傷害が恒久的ではない状態 3: 生命に危険があるか、重度の傷害あるいは恒久的な障害をもたらす状態	劣化	A: 健全な状態 B: 軽微な劣化がある状態 C: 重度の劣化がある状態 D: 最重要部材に重度の劣化がある状態
------	--	----	---

特記事項
ボルト突起

【安全領域】				
点検項目	点検器具	判定	写真No	備考
落下高さ1,500mm以下の時、握り棒の前後方向は、1,800mm以上。全領域重複不可	メジャー	2 合	2	
その他方向(1500mm以上、半分重複可)	メジャー	1 合	3	
鉄棒同士の間支支柱側面方向は1500mm以上全領域重複可	メジャー	1 合		
上部空間、1,800mm以上	メジャー	1 合		
コンクリート・アスファルトなどの固い設置面でない	目視	3 合		
くぼみ・段差・石ころなどの障害物がないこと	目視	1 合		

【規準一般】				
点検項目	点検器具	判定	写真No	備考
① 頭部・胴体の挟み込み(100～230mm)	器具AB	2 合		
ハザードレベル3に該当する箇所がないこと	器具AB	3 合		
② 頭部または首の挟み込み(V字型開口部)	器具AB	3 合		
③ 指の挟み込み(φ8～25mm)	器具E	2 合		
④ 絡まり・引っ掛かり(突出部や隙間)	目視	2 合		
⑤ 衝突・転倒(突出部や段差)	目視	1 合		
衝突転倒が想定される場合、衝撃緩和への配慮	目視	2 合		
⑥ ボルト・ナット類による突起(引っ掛かり防止対策)	目視	1 合		
直接衝突の危険がある、ボルト・ナット類の突出対策	目視	2 否	4	継手金具
⑦ 鋭利な先端・角・縁	目視触診	1 合		
⑩ 救助対策	目視	1 合		
⑪ 基礎の設計(基礎の天端 土かぶり100mm以上)	メジャー	1 否	5	基礎土被り不足(60mm)
基礎の露出がないこと	目視	2 合		
ハザードレベル3に該当する箇所がないこと	器具A	3 合		

【劣化】				
構造部材				
支柱部				
点検項目	点検器具	判定	写真No	備考
腐食がないか(地際部附近)(全数点検)	目視打診	B	6	発錆あり
腐食がないか(地際部附近以外)	目視打診	B	7	発錆あり
ぐらつきがないか	揺診	A		
破損など	目視	A		

握り棒部				
点検項目	点検器具	判定	写真No	備考
腐食がないか	目視打診	B	8	発錆あり
ぐらつきがないか	揺診	A		
破損など	目視	A		

継手金具				
点検項目	点検器具	判定	写真No	備考
腐食がないか(全数点検)	目視	B	9	発錆あり
ボルトの緩みがないか	打診触診	A		
破損・割れ	目視	A		
基礎部				
点検項目	点検器具	判定	写真No	備考
ぐらつきがないか(全数点検)	揺診	A		
衝撃吸収材などの破損	目視	A		
【その他】				
点検項目	点検器具	判定	写真No	備考
その他不具合	目視	A		
【規準】				
握り棒部				
点検項目	点検器具	判定	写真No	備考
握り棒の有効長(900mm以上)	メジャー	1 合		1640mm
握り棒の太さ(φ20mm~35mm)	ノギス	1 合		φ28.0mm
握り棒は、回転してはならない	触診	2 合		

ジャングルジム定期点検表

管理番号 2

製品名	ジャングルジム	所在施設名	鹿沼公園	住所	中央区鹿沼台2丁目15番
点検社				点検日	2025年12月15日
点検者				確認者	
製造者	日都産業(株)	SPシール	無・有 ()	製造番号	
設置年月	年 月	経過年月	年 月	最大落下高さ	2,300 mm
構造部材1	鉄	構造部材2		消耗部材	
対象年齢シール	無・有	対象年齢	1歳~3歳・3歳~6歳・6歳~12歳・3歳~12歳・大人		

I. 機能に関する総合判定		II. 塗装に関する総合判定	
使用継続	A: 健全であり、修繕の必要がない B: 部分的に異常があり、部分修繕が必要 C: 重要な箇所部分的に異常があり、部分修繕が必要 D: 最重要部材等に異常があり、大規模な修繕または破棄し更新が必要	A: 再塗装の必要がない B: 部分的に塗装が必要 C: 全体的に塗装が必要	
判定	不可	判定	劣化

ハザード	0: 傷害をもたらす物的ハザードがない状態 1: 軽度の傷害をもたらす状態 2: 重大であるが傷害が恒久的ではない状態 3: 生命に危険があるか、重度の傷害あるいは恒久的な障害をもたらす状態	劣化	A: 健全な状態 B: 軽微な劣化がある状態 C: 重度の劣化がある状態 D: 最重要部材に重度の劣化がある状態
------	--	----	---

特記事項
ボルト突起

【安全領域】				
点検項目	点検器具	判定	写真No	備考
全方向(落下高さ600mm超・全方向1800mm以上・1/2領域重複可)	メジャー	2 合	3	
上部空間、1,800mm以上	メジャー	1 合		
コンクリート・アスファルトなどの固い設置面でない	目視	3 合		
くぼみ・段差・石ころなどの障害物がないこと	目視	1 否	4.5	石散乱・木の根あり

【規準一般】				
点検項目	点検器具	判定	写真No	備考
① 頭部・胴体の挟み込み(100~230mm)	器具AB	2 合		
ハザードレベル3に該当する箇所がないこと	器具AB	3 合		
② 頭部または首の挟み込み(V字型開口部)	器具AB	3 合		
③ 指の挟み込み(φ8~25mm)	器具C	2 合		
④ 絡まり・引っ掛かり(突出部や隙間)	目視	2 合		
⑤ 衝突・転倒(突出部や段差)	目視	1 合		
衝突転倒が想定される場合、衝撃緩和への配慮	目視	2 合		
⑥ ボルト・ナット類による突起(引っ掛かり防止対策)	目視	1 合		
直接衝突の危険がある、ボルト・ナット類の突出対策	目視	2 否	6	接合部
⑦ 鋭利な尖端・角・縁	目視触診	1 合		
⑩ 救助対策	目視	1 合		
⑪ 基礎の設計(基礎の天端 土かぶり100mm以上)	メジャー	1 否	7	基礎土被り不足(80mm)
基礎の露出がないこと	目視	2 合		
ハザードレベル3に該当する箇所がないこと	目視	3 合		

【劣化】				
構造部材				
縦部材				
点検項目	点検器具	判定	写真No	備考
腐食がないか(地際部附近)	目視打診	B	8	発錆あり
腐食がないか(地際部附近以外)	目視打診	B	9	発錆あり
ぐらつきがないか	揺診	A		
破損など	目視	A		

横架材				
点検項目	点検器具	判定	写真No	備考
腐食がないか	目視打診	B	10	発錆あり
ぐらつきがないか	揺診	A		
破損など	目視	A		

接合部				
点検項目	点検器具	判定	写真No	備考

腐食がないか	目視	B	11	発錆あり
ボルトの緩みがないか(全数の10%)	打診触診	A		
破損・割れ	目視	A		
基礎部				
点検項目	点検器具	判定	写真No	備考
ぐらつきがないか(全数点検)	揺診	A		
衝撃吸収材などの破損	目視	A		
【規準】				
点検項目	点検器具	判定	写真No	備考
落下高さ(幼児用2000mm以下)	メジャー	2 合		
落下高さ(児童用3000mm以下)	メジャー	3 合		
構成部材による開口部(400mm以上)	メジャー	1 合	12	520mm
幼児用で、年齢制限エリアに設置されている場合は、300mmまで低減できる	メジャー	1 合		
構成部材の握り棒太さ(幼児用20~40mm)	ノギス	1 合		
構成部材の握り棒太さ(児童用20~50mm)	ノギス	1 合		
構成部材同士の接合部分は、絡まったり引っ掛かったりする突起・でっぱり・隙間がないこと	目視触診	2 合		

スプリング遊具(着座型)定期点検表

管理番号 3

製品名	スプリング遊具(トリ)	所在施設名	鹿沼公園	住所	中央区鹿沼台2丁目15番
点検社				点検日	2025年12月15日
点検者				確認者	
製造者	(株)コンパン・プレイスケープ	SPシール	無・ <input checked="" type="radio"/> ()	製造番号	
設置年月	年 月	経過年月	年 月	最大落下高さ	480 mm
構造部材1	鉄	構造部材2		消耗部材	スプリング
対象年齢シール	無・ <input checked="" type="radio"/>	対象年齢	1歳~3歳・ <input checked="" type="radio"/> 3歳~6歳	6歳~12歳・3歳~12歳・大人	

I. 機能に関する総合判定		II. 塗装に関する総合判定	
使用継続	A: 健全であり、修繕の必要がない B: 部分的に異常があり、部分修繕が必要 C: 重要な箇所部分的に異常があり、部分修繕が必要 D: 最重要部材等に異常があり、大規模な修繕または破棄し更新が必要	<input checked="" type="radio"/> A	再塗装の必要がない B: 部分的に塗装が必要 C: 全体的に塗装が必要
<input checked="" type="radio"/> 可	<input checked="" type="radio"/> B		

ハザード	0: 傷害をもたらす物的ハザードがない状態 1: 軽度の傷害をもたらす状態 <input checked="" type="radio"/> 2: 重大であるが傷害が恒久的ではない状態 3: 生命に危険があるか、重度の傷害あるいは恒久的な障害をもたらす状態	劣化	A: 健全な状態 <input checked="" type="radio"/> B: 軽微な劣化がある状態 C: 重度の劣化がある状態 D: 最重要部材に重度の劣化がある状態
------	---	----	--

特記事項
スプリング推奨交換年数超過の可能性
手足指の挟み込みの恐れあり

【安全領域】				
点検項目	点検器具	判定	写真No	備考
全方向(落下高さ600mm以下・全方向1500mm・全領域重複可、落下高さ600mm超・全方向1800mm・全領域重複可)	メジャー	1 合	4	
上部空間、1,800mm以上	メジャー	1 合		
コンクリート・アスファルトなどの固い設置面でない	目視	3 合		
くぼみ・段差・石ころなどの障害物がないこと	目視	1 合		

【規準一般】				
点検項目	点検器具	判定	写真No	備考
① 頭部・胴体の挟み込み(100~230mm)	器具AB	2 合		
ハザードレベル3に該当する箇所がないこと	器具AB	3 合		
② 頭部または首の挟み込み(V字型開口部)	器具AB	3 合		
③ 指の挟み込み(φ8~25mm)	器具C	2 合		
④ 絡まり・引っ掛かり(突出部や隙間)	目視	2 合		
⑤ 衝突・転倒(突出部や段差)	目視	1 合		
衝突転倒が想定される場合、衝撃緩和への配慮	目視	2 合		
⑥ ボルト・ナット類による突起(引っ掛かり防止対策)	目視	1 合		
直接衝突の危険がある、ボルト・ナット類の突出対策	目視	2 合		
⑦ 鋭利な尖端・角・縁	目視触診	1 合		
⑩ 救助対策	目視	1 合		
⑪ 基礎の設計(基礎の天端 土かぶり100mm以上)	メジャー	1 合		
基礎の露出がないこと	目視	2 合		
ハザードレベル3に該当する箇所がないこと	目視	3 合		

【劣化】				
消耗部材				
スプリング部				
点検項目	点検器具	判定	写真No	備考
腐食がないか	目視	B	5	発錆あり
ぐらつきがないか	揺診	A		
破損など	目視	A		

上物部				
点検項目	点検器具	判定	写真No	備考
磨耗・腐食がないか	目視打診	A	6	
ボルトの緩みがないか(全数点検)	打診触診	A		
ぐらつきがないか	揺診	A		
破損など	目視	A		

台座部				
点検項目	点検器具	判定	写真No	備考

腐食がないか	目視打診	A	7	
ボルトの緩みがないか(全数点検)	打診触診	A		
ぐらつきがないか	揺診	A		
破損など	目視	A		

基礎部

点検項目	点検器具	判定	写真No	備考
ぐらつきがないか(全数点検)	揺診	A		
衝撃吸収材などの破損	目視	A		

【規準】

上物部

点検項目	点検器具	判定	写真No	備考
上物には安全な利用姿勢を維持できるための、着座部・グリップを設ける	目視	2 合		
ステップは利用者が安定姿勢を保てる形状・位置である	目視	1 合		
着座部下端と設置面間が230mm以下の際は、ステップを設ける	器具A	1 合		
グリップはつかまり易い位置で、太さ15～45mmとする	ノギス	1 合		
太さ20mm未満のグリップは、閉口形状とする	ノギス	1 合		
幼児用とする場合は太さ12～35mmとする	ノギス	1 合		
グリップは回ったり・ねじれたりする構造ではない	触診	1 合		
グリップ上方の上物部分は、鋭利箇所なく衝撃吸収性を有していること	目視触診	1 合		

スプリング

点検項目	点検器具	判定	写真No	備考
利用時に手足や指が挟まらない構造とする(中間部)	揺診	2 合	8	
利用時に手足や指が挟まらない構造とする(固定部)	目視	2 否	9	

台座部

点検項目	点検器具	判定	写真No	備考
台座は、スプリングの強度や耐久性の低下を招くことのないように、適切な方法で固定	目視	2 合		

コンクリート製遊具定期点検表

管理番号 5

製品名	コンクリートすべり台	所在施設名	鹿沼公園	住所	中央区鹿沼台2丁目15番
点検社				点検日	2025年12月15日
点検者				確認者	
製造者	不明	SPシール	無・有 ()	製造番号	
設置年月	年 月	経過年月	年 月	最大落下高さ	1,600 mm
構造部材1	コンクリート	構造部材2	鉄	消耗部材	
対象年齢シール	無・有	対象年齢	1歳～3歳 ・ 3歳～6歳 ・ 6歳～12歳 ・ 3歳～12歳 ・ 大人		

I. 機能に関する総合判定		II. 塗装に関する総合判定	
使用継続	A: 健全であり、修繕の必要がない B: 部分的に異常があり、部分修繕が必要 C: 重要な箇所部分的に異常があり、部分修繕が必要 D: 最重要部材等に異常があり、大規模な修繕または破棄し更新が必要	A: 再塗装の必要がない B: 部分的に塗装が必要 C: 全体的に塗装が必要	
可・不可	◎		

ハザード	0: 傷害をもたらす物的ハザードがない状態 1: 軽度の傷害をもたらす状態 2: 重大であるが傷害が恒久的ではない状態 ◎ 3: 生命に危険があるか、重度の傷害あるいは恒久的な障害をもたらす状態	劣化	A: 健全な状態 B: 軽微な劣化がある状態 ◎ C: 重度の劣化がある状態 D: 最重要部材に重度の劣化がある状態
------	--	----	---

特記事項
 頭部挟み込みの恐れあり
 本体部 亀裂・破損あり

【安全領域】				
点検項目	点検器具	判定	写真No	備考
全方向(落下高さ600mmを超える時、全方向1,800mm以上、1/2重複可)	メジャー	2 合	2	
上部空間、1,800mm以上	メジャー	1 合		
コンクリート・アスファルトなどの固い設置面でない	目視	3 合		
くぼみ・段差・石ころなどの障害物がないこと	目視	1 否	3	石散乱

【規準一般】				
点検項目	点検器具	判定	写真No	備考
① 頭部・胴体の挟み込み(100～230mm)	器具AB	2 合		
ハザードレベル3に該当する箇所がないこと	器具AB	3 否	4	部材間
② 頭部または首の挟み込み(V字型開口部)	器具AB	3 合		
③ 指の挟み込み(φ8～25mm)	器具C	2 合		
④ 絡まり・引っ掛かり(突出部や隙間)	目視	2 合		
⑤ 衝突・転倒(突出部や段差)	目視	1 合		
衝突転倒が想定される場合、衝撃緩和への配慮	目視	2 合		
⑥ ボルト・ナット類による突起(引っ掛かり防止対策)	目視	1 合		
直接衝突の危険がある、ボルト・ナット類の突出対策	目視	2 合		
⑦ 鋭利な尖端・角・縁	目視触診	1 合		
⑧ 転落・落下 ガードレール	メジャー	1 合		
⑩ 救助対策	目視	1 合		
⑪ 基礎の設計(基礎の天端 土かぶり100mm以上)	メジャー	1 合		
基礎の露出がないこと	目視	2 合		
ハザードレベル3に該当する箇所がないこと	目視	3 合		

【劣化】				
コンクリート				
本体部				
点検項目	点検器具	判定	写真No	備考
磨耗・へこみがないか	目視	B	5	磨耗あり
ぐらつきがないか	揺診	A		
亀裂・浮き・傾斜等はないか	目視	C	6	亀裂あり
破損など	目視打診	C	7,8	破損あり

基礎部				
点検項目	点検器具	判定	写真No	備考
ぐらつきがないか	揺診	A		
衝撃吸収材などの破損	目視	A		

その他				
点検項目	点検器具	判定	写真No	備考
その他		A		

一方向ブランコ定期点検表

管理番号 6

製品名	4連ブランコ	所在施設名	鹿沼公園	住所	中央区鹿沼台2丁目15番
点検社				点検日	2025年12月15日
点検者				確認者	
製造者	日都産業(株)	SPシール	無・有 ()	製造番号	
設置年月	年 月	経過年月	年 月	最大落下高さ	2,350 mm
構造部材1	鉄	構造部材2		消耗部材	吊り金具 吊り部材 着座部
対象年齢シール	無・有	対象年齢	1歳～3歳 ・ 3歳～6歳 ・ 6歳～12歳 ・ 3歳～12歳 ・ 大人		

I. 機能に関する総合判定		II. 塗装に関する総合判定	
使用継続	A: 健全であり、修繕の必要がない B: 部分的に異常があり、部分修繕が必要 C: 重要な箇所部分的に異常があり、部分修繕が必要 D: 最重要部材等に異常があり、大規模な修繕または破棄し更新が必要	A: 再塗装の必要がない B: 部分的に塗装が必要 C: 全体的に塗装が必要	
可・不可			

ハザード	0: 傷害をもたらす物的ハザードがない状態 1: 軽度の傷害をもたらす状態 2: 重大であるが傷害が恒久的ではない状態 3: 生命に危険があるか、重度の傷害あるいは恒久的な障害をもたらす状態	劣化	A: 健全な状態 B: 軽微な劣化がある状態 C: 重度の劣化がある状態 D: 最重要部材に重度の劣化がある状態
------	--	----	---

特記事項
 ブランコ柵近接
 杭突起に衝突の恐れあり 基礎露出
 継手金具 腐食あり 吊り部材 摩耗あり

【安全領域】					
点検項目	点検器具	判定	写真No	備考	
運動方向、着座部が飛び出し可の時、落下高さ+1,500mm以上。全領域重複不可	メジャー	2 否	2	ブランコ柵近接	
その他方向、着座部の外側から1,500mm以上。全領域重複可	メジャー	2 否	3	ブランコ柵近接	
柱の外側から500mm以上。全領域重複可	メジャー	2 否	4	ブランコ柵近接	
上部空間、1,800mm以上	メジャー	1 合			
境界柵があるか	目視	2 合	5		
コンクリート・アスファルトなどの固い設置面でない	目視	3 合			
くぼみ・段差・石ころなどが無いこと	目視	1 合			

【規準一般】					
点検項目	点検器具	判定	写真No	備考	
① 頭部・胴体の挟み込み(100～230mm)	器具AB	2 合			
ハザードレベル3に該当する箇所がないこと	器具AB	3 合			
② 頭部または首の挟み込み(V字型開口部)	器具AB	3 合			
③ 指の挟み込み(φ8～25mm)	器具C	2 合			
④ 絡まり・引っ掛かり(突出部や隙間)	目視	2 合			
⑤ 衝突・転倒(突出部や段差)	目視	1 合			
衝突転倒が想定される場合、衝撃緩和への配慮	目視	2 合			
⑥ ボルト・ナット類による突起(引っ掛かり防止対策)	目視	1 合			
直接衝突の危険がある、ボルト・ナット類の突出対策	目視	2 否	6	杭突起に衝突の恐れあり	
⑦ 鋭利な尖端・角・縁	目視触診	1 合			
⑩ 救助対策	目視	1 合			
⑪ 基礎の設計(基礎の天端 土かぶり100mm以上)	メジャー	1 否	7	基礎土被り不足(±0mm)	
基礎の露出がないこと	目視	2 否	8	基礎露出(1箇所)	
ハザードレベル3に該当する箇所がないこと	目視	3 合			

【劣化】					
構造部材					
支柱部					
点検項目	点検器具	判定	写真No	備考	
腐食がないか(地際部附近)(全数点検)	目視打診	B	9	発錆あり	
腐食がないか(地際部附近以外)	目視打診	B	10	発錆あり	
ぐらつきがないか	揺診	A			
破損など	目視	A			

梁部					
点検項目	点検器具	判定	写真No	備考	
腐食がないか(金具附近)	目視打診	B	11	発錆あり	

腐食がないか(金具附近以外)	目視打診	B	12	発錆あり
破損など	目視	A		
継手金具				
点検項目	点検器具	判定	写真No	備考
腐食がないか	目視	C	13	腐食あり
ボルトの緩みがないか	打診触診	A		
破損・割れ	目視	A		
消耗部材				
吊り金具				
点検項目	点検器具	判定	写真No	備考
腐食がないか(全数点検)	目視	B	14	発錆あり
回転不良がないか	触診聴診	A		
ボルトの緩みがないか	打診触診	A		
磨耗 初期太さ/現在太さ	触診	B	15	磨耗あり
破損など	目視	A		
吊り部材				
点検項目	点検器具	判定	写真No	備考
腐食がないか	目視	A		
ねじれ(全数点検)	目視	A		
磨耗 初期太さ/現在太さ	ノギス	D	16,17,18 .19,20,2 1,22,23, 24,25	磨耗あり・磨耗 5.4mm/11.7mm(磨耗 率:53.9%)
破損など	目視	A		
着座部				
点検項目	点検器具	判定	写真No	備考
磨耗・腐食(全数点検)	目視	A		
破損など	目視	B	26	汚損あり
基礎部				
点検項目	点検器具	判定	写真No	備考
ぐらつきがないか(全数点検)	揺診	A		
衝撃吸収材などの破損	目視	A		
緩衝材				
安全マット				
点検項目	点検器具	判定	写真No	備考
磨耗	目視	A		
破損など	目視	A		
【規準】				
着座型				
点検項目	点検器具	判定	写真No	備考
一人乗りとし、座った時に体が安定し、安全な材質や形状・構	目視	2	合	
柔らかい材質又は覆われて、底面・側面は突起物が露出しない構造	目視触診	2	合	27
平板型の奥行は有効幅の中で一番狭い部分で120mm以上	メジャー	1	合	170mm
有効幅は、幼児用300~400mm、児童用350~500mm	メジャー	1	合	360mm
スイングクリアランスは、350~450mm(現状寸法で計測)	メジャー	2	合	28
幼児用で年齢制限エリアに設置する場合は、300~400mm	メジャー	2	合	
隣り合った支柱間に吊るす着座部は、2座まで	目視	2	合	
揺動部				
点検項目	点検器具	判定	写真No	備考
隣り合った支柱間に幼児用と児童用の混在がないこと	目視	2	合	
吊り部材はバリなどがいないこと	目視触診	1	合	
吊り部材は、2°以上に角度を持って吊り下げる	傾斜計	1	合	
吊り部材同士・支柱との間隔は、着地面より1,000mmの位置で 650mm以上とする	メジャー	1	合	29
揺動部のボルト・シャックルは、緩み止めの対策をする	目視	2	合	
梁部				
点検項目	点検器具	判定	写真No	備考
落下高さは、幼児用2,000mm以下、児童用3,000mm以下	メジャー	2	合	
着座部上面から回転軸までの高さ児童用1,750mm以上	メジャー	2	合	1830mm

ブランコ柵定期点検表

管理番号 7

製品名	ブランコ境界柵	所在施設名	鹿沼公園	住所	中央区鹿沼台2丁目15番
点検社				点検日	2025年12月15日
点検者				確認者	
製造者	不明	SPシール	無・有 ()	製造番号	
設置年月	年 月	経過年月	年 月	最大落下高さ	mm
構造部材1	鉄	構造部材2		消耗部材	
対象年齢シール	無・有	対象年齢	1歳～3歳・3歳～6歳・6歳～12歳・3歳～12歳・大人		
I. 機能に関する総合判定			II. 塗装に関する総合判定		
使用継続	A: 健全であり、修繕の必要がない B: 部分的に異常があり、部分修繕が必要 C: 重要な箇所部分的に異常があり、部分修繕が必要 D: 最重要部材等に異常があり、大規模な修繕または破棄し更新が必要			A: 再塗装の必要がない B: 部分的に塗装が必要 C: 全体的に塗装が必要	
ハザード	0: 傷害をもたらす物的ハザードがない状態 1: 軽度の傷害をもたらす状態 2: 重大であるが傷害が恒久的ではない状態 3: 生命に危険があるか、重度の傷害あるいは恒久的な障害をもたらす状態			劣化	A: 健全な状態 B: 軽微な劣化がある状態 C: 重度の劣化がある状態 D: 最重要部材に重度の劣化がある状態
特記事項	安全領域内設置				
【安全領域】					
点検項目		点検器具	判定	写真No	備考
境界柵は、安全領域内に設置してはならない		メジャー	2 否	2	安全領域内設置
【劣化】					
構造部材					
支柱部					
点検項目		点検器具	判定	写真No	備考
腐食がないか(地際部附近)(4隅の4本)		目視打診	B	3	発錆あり
腐食がないか(地際部附近以外)		目視打診	B	4	発錆あり
ぐらつきがないか		揺診	A		
破損など		目視	B	5	変形あり
横架材					
点検項目		点検器具	判定	写真No	備考
腐食がないか(金具附近)(全数点検)		目視打診	B	6	発錆あり
腐食がないか(金具附近以外)		目視打診	B	7	発錆あり
破損など		目視	A		
継手金具					
点検項目		点検器具	判定	写真No	備考
腐食がないか(全数点検)		目視	B	8	発錆あり
ボルトの緩みがないか		打診触診	A		
破損・割れ		目視	A		
基礎部					
点検項目		点検器具	判定	写真No	備考
ぐらつきがないか(全数点検)		揺診	A		
破損など		目視	A		
【規準一般】					
点検項目		点検器具	判定	写真No	備考
① 頭部・胴体の挟み込み(100～230mm)		器具AB	2 合		
ハザードレベル3に該当する箇所がないこと		器具AB	3 合		
② 頭部または首の挟み込み(V字型開口部)		器具AB	3 合		
③ 指の挟み込み(φ8～25mm)		器具C	2 合		
④ 絡まり・引っ掛かり(突出部や隙間)		目視	2 合		
⑤ 衝突・転倒(突出部や段差)		目視	1 合		
衝突転倒が想定される場合、衝撃緩和への配慮		目視	2 合		
⑥ ボルト・ナット類による突起(引っ掛かり防止対策)		目視	1 合		
直接衝突の危険がある、ボルト・ナット類の突出対策		目視	2 合		
⑦ 鋭利な先端・角・縁		目視触診	1 合		

⑩ 救助対策	目視	1	合		
⑪ 基礎の設計(基礎の天端 土かぶり100mm以上)	メジャー	1	否	9	基礎土被り不足(30mm)
基礎の露出がないこと	目視	2	合		
ハザードレベル3に該当する箇所がないこと	目視	3	合		
【規準】					
境界柵					
	点検項目	点検器具	判定	写真No	備考
	境界柵の横架材は、その上に容易に立てない形状とする	目視	1 合		
	設置面から横架材上面までの高さ600～700mm	メジャー	1 否	10	490mm
	境界柵が連続又は隣接する場合内寸法で500mm以上	メジャー	1 合		

ボーダー型砂場定期点検表

管理番号 8

製品名	丸型砂場	所在施設名	鹿沼公園	住所	中央区鹿沼台2丁目15番
点検社				点検日	2025年12月15日
点検者				確認者	
製造者	不明	SPシール	無・有 ()	製造番号	
設置年月	年 月	経過年月	年 月	最大落下高さ	10 mm
構造部材1	コンクリート	構造部材2		消耗部材	砂
対象年齢シール	無・有	対象年齢	1歳～3歳 ・ 3歳～6歳 ・ 6歳～12歳 ・ 3歳～12歳 ・ 大人		

I. 機能に関する総合判定		II. 塗装に関する総合判定	
使用継続	A: 健全であり、修繕の必要がない B: 部分的に異常があり、部分修繕が必要 C: 重要な箇所部分的に異常があり、部分修繕が必要 D: 最重要部材等に異常があり、大規模な修繕または破棄し更新が必要	A: 再塗装の必要がない B: 部分的に塗装が必要 C: 全体的に塗装が必要	
可・不可	無		

ハザード	0: 傷害をもたらす物的ハザードがない状態 1: 軽度の傷害をもたらす状態 2: 重大であるが傷害が恒久的ではない状態 3: 生命に危険があるか、重度の傷害あるいは恒久的な障害をもたらす状態	劣化	A: 健全な状態 B: 軽微な劣化がある状態 C: 重度の劣化がある状態 D: 最重要部材に重度の劣化がある状態
------	--	----	---

特記事項 砂 枯葉混入

【安全領域】				
点検項目	点検器具	判定	写真No	備考
全方向(落下高さ220mm以下・全方向500mm以上・全領域可)	メジャー	1 合	2	
砂場内他遊具設置	目視	1 合		
上部空間、1,800mm以上	メジャー	1 合		
コンクリート・アスファルトなどの固い設置面でない	目視	2 合		
くぼみ・段差・石ころなどの障害物がないこと	目視	1 合		

【規準一般】				
点検項目	点検器具	判定	写真No	備考
① 頭部・胴体の挟み込み(100～230mm)	器具AB	2 合		
ハザードレベル3に該当する箇所がないこと	器具AB	3 合		
② 頭部または首の挟み込み(V字型開口部)	器具AB	3 合		
③ 指の挟み込み(φ8～25mm)	器具C	2 合		
④ 絡まり・引っ掛かり(突出部や隙間)	目視	2 合		
⑤ 衝突・転倒(突出部や段差)	目視	1 合		
衝突転倒が想定される場合、衝撃緩和への配慮	目視	2 合		
⑥ ボルト・ナット類による突起(引っ掛かり防止対策)	目視	1 合		
直接衝突の危険がある、ボルト・ナット類の突出対策	目視	2 合		
⑦ 鋭利な尖端・角・縁	目視触診	1 合		
⑩ 救助対策	目視	1 合		
⑪ 基礎の設計(基礎の天端 土かぶり100mm以上)	メジャー	1 合		
基礎の露出がないこと	目視	2 合		

【劣化】				
構造部材				
砂場枠				
点検項目	点検器具	判定	写真No	備考
腐食・腐朽がないか	目視	A		
ぐらつきがないか	揺診	A		
破損など	目視	B	3	隙間あり

消耗部材				
砂				
点検項目	点検器具	判定	写真No	備考
動物の糞や異物が混入していないか	目視	C	4	枯葉混入
水はけはよいか	目視	A		
砂は砂場枠上端までであるか	メジャー	B	5	砂 220mm減少(基準値 220mm以下)
砂はかたくなっていないか	触診	A		

【規準】

大きさ					
点検項目	点検器具	判定		写真No	備考
砂の深さ(200mm以上)	メジャー	1	合		200mm～
出入口となる設置面と砂場枠上面との段差(220mm以下)	メジャー	1	合		
その他					
点検項目	点検器具	判定		写真No	備考
砂場は、身体を使って行動的な遊びをする空間やそうした施設が設置されている場所と区別して設置する	目視	2	合		

すべり台定期点検表

管理番号 9

製品名	並列すべり台	所在施設名	鹿沼公園	住所	中央区鹿沼台2丁目15番	
点検社				点検日	2025年12月15日	
点検者				確認者		
製造者	(株)コトブキ	SPシール	無・有 ()	製造番号	CP	
設置年月	平成18年7月		経過年月	19年5ヶ月	最大落下高さ	1,020 mm
構造部材1	鉄	構造部材2	合成樹脂	消耗部材		
対象年齢シール	無・有	対象年齢	1歳～3歳・3歳～6歳	6歳～12歳・3歳～12歳・大人		
I. 機能に関する総合判定			II. 塗装に関する総合判定			
使用継続	A: 健全であり、修繕の必要がない B: 部分的に異常があり、部分修繕が必要 C: 重要な箇所部分的に異常があり、部分修繕が必要 D: 最重要部材等に異常があり、大規模な修繕または破棄し更新が必要			A: 再塗装の必要がない B: 部分的に塗装が必要 C: 全体的に塗装が必要		
ハザード	0: 傷害をもたらす物的ハザードがない状態 ① 軽度の傷害をもたらす状態 2: 重大であるが傷害が恒久的ではない状態 3: 生命に危険があるか、重度の傷害あるいは恒久的な障害をもたらす状態			劣化	A: 健全な状態 B: 軽微な劣化がある状態 C: 重度の劣化がある状態 D: 最重要部材に重度の劣化がある状態	
特記事項						
【安全領域】						
点検項目		点検器具	判定	写真No	備考	
滑り降り口方向は、2000mm以上 全領域重複不可		メジャー	2 合	3		
その他方向、落下高さ600mmを超える時、1800mm以上1/2領域重複可		メジャー	2 合	4		
上部空間、1,800mm以上		メジャー	1 合			
コンクリート・アスファルトなどの固い設置面でない		目視	3 合			
くぼみ・段差・石ころなどの障害物がないこと		目視	1 否	5	石散乱	
【規準一般】						
点検項目		点検器具	判定	写真No	備考	
① 頭部・胴体の挟み込み(100～230mm)		器具AB	2 合			
ハザードレベル3に該当する箇所がないこと		器具AB	3 合			
② 頭部または首の挟み込み(V字型開口部)		器具AB	3 合			
③ 指の挟み込み(φ8～25mm)		器具C	2 合			
④ 絡まり・引っ掛かり(突出部や隙間)		目視	2 合			
⑤ 衝突・転倒(突出部や段差)		目視	1 合			
衝突転倒が想定される場合、衝撃緩和への配慮		目視	2 合			
⑥ ボルト・ナット類による突起(引っ掛かり防止対策)		目視	1 合			
直接衝突の危険がある、ボルト・ナット類の突出対策		目視	2 合			
⑦ 鋭利な尖端・角・縁		目視触診	1 合			
⑧ ガードレール(幼児用)500～700mm(児童用)600～800mm		メジャー	1 合			
落下防止柵 700mm以上(踊場高さ2,000mm以下)		メジャー	2 合		700mm～	
手すり子の形状		メジャー	2 合			
手すり子のスキマ(100mm未満)		メジャー	2 合			
⑨ 階段・はしごの設計 共通項目 傾斜(90°)横棒はしご(75°)踏板はしご(50°)階段(15°)		メジャー	2 合			
階段・はしごの設計 共通項目 落下高さ(幼児用)2,000mm以下(児童用)3,000mm以下		メジャー	2 合			
階段・はしごの設計 共通項目 中間踊り場の幅は有効幅員以上・奥行500mm以上		メジャー	2 合			
階段・はしごの設計 共通項目 段差間には頭部・胴体の挟み込みがない		メジャー	2 合			
手すり子には頭部・胴体の挟み込みがない		メジャー	2 合			
階段 奥行(板有・無):(幼児用)170mm以上(児童用)170mm以上		メジャー	1 合		170mm	
階段 踏み板の長さ:(幼児用)300mm以上(児童用)400mm以上		メジャー	1 合		300mm	
階段 段差:(幼児用)220mm以下(児童用)305mm以下		メジャー	2 合		210mm	

階段 手すり高さ：(幼児用) 500～800mm (児童用) 500～800mm	メジャー	1	合		650mm
⑩ 救助対策	目視	1	合		
⑪ 基礎の設計(基礎の天端 土かぶり100mm以上)	メジャー	1	合	6	
基礎の露出がないこと	目視	2	合		
ハザードレベル3に該当する箇所がないこと	目視	3	合		
落下高さは、幼児用では2,000mm以下	メジャー	2	合		1020mm

【劣化】

構造部材

登行部

点検項目	点検器具	判定	写真No	備考
腐食がないか(地際部附近)(全数点検)	目視打診	B	7	発錆あり
腐食がないか(ササラ・手すり)	目視打診	B	8	発錆あり
腐食がないか(踏板)	目視打診	B	9	発錆あり
ぐらつきがないか	揺診	A		
破損など	目視	A		

出発部(踊り場)

点検項目	点検器具	判定	写真No	備考
腐食がないか(床板)	目視打診	B	10	発錆あり
腐食がないか(手すり)	目視打診	B	11	発錆あり
ぐらつきがないか	揺診	A		
破損など	目視	B	12	摩耗あり

支柱

点検項目	点検器具	判定	写真No	備考
腐食がないか(地際部附近)(全数点検)	目視打診	B	13	発錆あり
腐食がないか(地際部附近以外)(全数点検)	目視打診	A		
ぐらつきがないか	揺診	A		
破損など	目視	A		

消耗部材

滑降部

点検項目	点検器具	判定	写真No	備考
腐食がないか(地際部附近)(全数点検)	目視打診	B	14	発錆あり
腐食がないか(滑降面・側面)(全数点検)	目視打診	A	15	
磨耗がないか(滑降面・側面)	目視	A		
破損など	目視	B	16	焦げ跡あり

緩衝材

安全マット

点検項目	点検器具	判定	写真No	備考
摩耗・破損など	目視	B	17	摩耗あり

基礎部

点検項目	点検器具	判定	写真No	備考
ぐらつきがないか(全数点検)	揺診	A		
衝撃吸収材などの破損	目視	A		

【規準】

出発部

点検項目	点検器具	判定	写真No	備考
滑降部と同幅以上、奥行300mm以上の平らな部分がある	メジャー	1	合	
着座姿勢に導くガイドバーを設ける(落下高さ>600mmの時)	目視	2	合	18
出発部と滑降部との継ぎ目は有害な隙間の無いこと	目視	3	合	19

滑降部

点検項目	点検器具	判定	写真No	備考
安全な滑降姿勢が維持でき、確実に着地できる構造	目視	2	合	
傾斜角度は45°(60°)以下とし、平均で35°以下とする	傾斜計	2	合	

滑降面

点検項目	点検器具	判定	写真No	備考
安全を阻害するようなへこみや突起物がないこと	触診	2	合	
利用による磨耗及び衝撃に十分耐えられるものとする	目視	1	合	
継ぎ目が生じるときは、隙間・段差が無く滑らかな表面仕上げ	触診	2	合	
有効幅は幼児用300mm以上、児童用360mm以上	メジャー	1	合	20

側壁

点検項目	点検器具	判定	写真No	備考
------	------	----	------	----

側壁の高さ 落下高さ>1500mmの時、側壁の高さ150mm以	メジャー	2	合	21	
継ぎ目が生じるときは、隙間・段差が無く滑らかな表面仕上げ	触診	2	合		
内面は安全を阻害するようなへこみや突起物がないこと	触診	2	合		
減速部					
点検項目	点検器具	判定	写真No	備考	
減速部の長さは安全に着地できる長さとする	メジャー	2 合			
減速部の末端は丸みをつけるか、曲面で仕上げる	目視	2 合	22		
傾斜変化部の曲率半径は、R750mm以上とする	メジャー	1 合	23		
着地面から終端上端部までの高さ 幼児用100~300mm	メジャー	1 合	24	190mm	

動物(固定型)定期点検表

管理番号 10

製品名	物置物(ウサギ、カートコース側)	所在施設名	鹿沼公園	住所	中央区鹿沼台2丁目15番
点検社				点検日	2025年12月15日
点検者				確認者	
製造者	不明	SPシール	無・有 ()	製造番号	
設置年月	年 月	経過年月	年 月	最大落下高さ	650 mm
構造部材1	コンクリート	構造部材2		消耗部材	
対象年齢シール	無・有	対象年齢	1歳~3歳・3歳~6歳・6歳~12歳・3歳~12歳・大人		
I. 機能に関する総合判定			II. 塗装に関する総合判定		
使用継続	A: 健全であり、修繕の必要がない B: 部分的に異常があり、部分修繕が必要 C: 重要な箇所部分的に異常があり、部分修繕が必要 D: 最重要部材等に異常があり、大規模な修繕または破棄し更新が必要			A: 再塗装の必要がない B: 部分的に塗装が必要 C: 全体的に塗装が必要	
ハザード	0: 傷害をもたらす物的ハザードがない状態 ① 軽度の傷害をもたらす状態 2: 重大であるが傷害が恒久的ではない状態 3: 生命に危険があるか、重度の傷害あるいは恒久的な障害をもたらす状態			劣化	A: 健全な状態 B: 軽微な劣化がある状態 C: 重度の劣化がある状態 D: 最重要部材に重度の劣化がある状態
特記事項					
【安全領域】					
点検項目		点検器具	判定	写真No	備考
全方向(落下高さ600mmを超える時、全方向1,800mm以上、1/2重複可)		メジャー	2 合	2	
上部空間、1,800mm以上		メジャー	1 合		
コンクリート・アスファルトなどの固い設置面でない		目視	3 合		
くぼみ・段差・石ころなどの障害物がないこと		目視	1 否	3	ガラあり
【規準一般】					
点検項目		点検器具	判定	写真No	備考
① 頭部・胴体の挟み込み(100~230mm)		器具AB	2 合		
ハザードレベル3に該当する箇所がないこと		器具AB	3 合		
② 頭部または首の挟み込み(V字型開口部)		器具AB	3 合		
③ 指の挟み込み(φ8~25mm)		器具C	2 合		
④ 絡まり・引っ掛かり(突出部や隙間)		目視	2 合		
⑤ 衝突・転倒(突出部や段差)		目視	1 合		
衝突転倒が想定される場合、衝撃緩和への配慮		目視	2 合		
⑥ ボルト・ナット類による突起(引っ掛かり防止対策)		目視	1 合		
直接衝突の危険がある、ボルト・ナット類の突出対策		目視	2 合		
⑦ 鋭利な尖端・角・縁		目視触診	1 合		
⑧ 転落・落下 ガードレール		メジャー	1 合		
⑩ 救助対策		目視	1 合		
⑪ 基礎の設計(基礎の天端 土かぶり100mm以上)		メジャー	1 合		
基礎の露出がないこと		目視	2 合		
ハザードレベル3に該当する箇所がないこと		目視	3 合		
【劣化】					
本体部					
点検項目		点検器具	判定	写真No	備考
腐食がないか		目視打診	A	4	
摩耗がないか		目視触診	B	5	摩耗あり
ぐらつきがないか		揺診	A		
破損など		目視	B	6	破損あり
基礎部					
点検項目		点検器具	判定	写真No	備考
ぐらつきがないか(全数点検)		揺診	A		
衝撃吸収材などの破損		目視	A		

動物(固定型)定期点検表

管理番号 11

製品名	動物置物(ウサギ、砂場側)	所在施設名	鹿沼公園	住所	中央区鹿沼台2丁目15番
点検社				点検日	2025年12月15日
点検者				確認者	
製造者	不明	SPシール	無・有 ()	製造番号	
設置年月	年 月	経過年月	年 月	最大落下高さ	590 mm
構造部材1	コンクリート	構造部材2		消耗部材	
対象年齢シール	無・有	対象年齢	1歳~3歳・3歳~6歳・6歳~12歳・3歳~12歳・大人		

I. 機能に関する総合判定		II. 塗装に関する総合判定	
使用継続	A: 健全であり、修繕の必要がない B: 部分的に異常があり、部分修繕が必要 C: 重要な箇所部分的に異常があり、部分修繕が必要 D: 最重要部材等に異常があり、大規模な修繕または破棄し更新が必要	A: 再塗装の必要がない B: 部分的に塗装が必要 C: 全体的に塗装が必要	
可・不可			

ハザード	0: 傷害をもたらす物的ハザードがない状態 1: 軽度の傷害をもたらす状態 2: 重大であるが傷害が恒久的ではない状態 3: 生命に危険があるか、重度の傷害あるいは恒久的な障害をもたらす状態	劣化	A: 健全な状態 B: 軽微な劣化がある状態 C: 重度の劣化がある状態 D: 最重要部材に重度の劣化がある状態
------	--	----	---

特記事項	
------	--

【安全領域】				
点検項目	点検器具	判定	写真No	備考
全方向(落下高さ600mm以下の時、全方向1,500mm以上、全領域重複可)	メジャー	1 合	2	
上部空間、1,800mm以上	メジャー	1 合		
コンクリート・アスファルトなどの固い設置面でない	目視	3 合		
くぼみ・段差・石ころなどの障害物がないこと	目視	1 合		

【規準一般】				
点検項目	点検器具	判定	写真No	備考
① 頭部・胴体の挟み込み(100~230mm)	器具AB	2 合		
ハザードレベル3に該当する箇所がないこと	器具AB	3 合		
② 頭部または首の挟み込み(V字型開口部)	器具AB	3 合		
③ 指の挟み込み(φ8~25mm)	器具C	2 合		
④ 絡まり・引っ掛かり(突出部や隙間)	目視	2 合		
⑤ 衝突・転倒(突出部や段差)	目視	1 合		
衝突転倒が想定される場合、衝撃緩和への配慮	目視	2 合		
⑥ ボルト・ナット類による突起(引っ掛かり防止対策)	目視	1 合		
直接衝突の危険がある、ボルト・ナット類の突出対策	目視	2 合		
⑦ 鋭利な尖端・角・縁	目視触診	1 合		
⑧ 転落・落下 ガードレール	メジャー	1 合		
⑩ 救助対策	目視	1 合		
⑪ 基礎の設計(基礎の天端 土かぶり100mm以上)	メジャー	1 合		
基礎の露出がないこと	目視	2 合		
ハザードレベル3に該当する箇所がないこと	目視	3 合		

【劣化】				
本体部				
点検項目	点検器具	判定	写真No	備考
腐食がないか	目視打診	A	3	
摩耗がないか	目視触診	B	4	摩耗あり
ぐらつきがないか	揺診	A		
破損など	目視	A		

基礎部				
点検項目	点検器具	判定	写真No	備考
ぐらつきがないか(全数点検)	揺診	A		
衝撃吸収材などの破損	目視	A		

動物(固定型)定期点検表

管理番号 12

製品名	物置物(ラクダ、カートコース側)	所在施設名	鹿沼公園	住所	中央区鹿沼台2丁目15番
点検社				点検日	2025年12月15日
点検者				確認者	
製造者	不明	SPシール	無・有()	製造番号	
設置年月	年 月	経過年月	年 月	最大落下高さ	570 mm
構造部材1	コンクリート	構造部材2		消耗部材	
対象年齢シール	無・有	対象年齢	1歳~3歳・3歳~6歳・6歳~12歳・3歳~12歳・大人		

I. 機能に関する総合判定		II. 塗装に関する総合判定	
使用継続	A: 健全であり、修繕の必要がない B: 部分的に異常があり、部分修繕が必要 C: 重要な箇所部分的に異常があり、部分修繕が必要 D: 最重要部材等に異常があり、大規模な修繕または破棄し更新が必要	A: 再塗装の必要がない B: 部分的に塗装が必要 C: 全体的に塗装が必要	
可・不可			

ハザード	0: 傷害をもたらす物的ハザードがない状態 ① 軽度の傷害をもたらす状態 2: 重大であるが傷害が恒久的ではない状態 3: 生命に危険があるか、重度の傷害あるいは恒久的な障害をもたらす状態	劣化	A: 健全な状態 B: 軽微な劣化がある状態 C: 重度の劣化がある状態 D: 最重要部材に重度の劣化がある状態
------	---	----	---

特記事項	
------	--

【安全領域】				
点検項目	点検器具	判定	写真No	備考
全方向(落下高さ600mm以下の時、全方向1,500mm以上、全領域重複可)	メジャー	1 合	2	
上部空間、1,800mm以上	メジャー	1 合		
コンクリート・アスファルトなどの固い設置面でない	目視	3 合		
くぼみ・段差・石ころなどの障害物がないこと	目視	1 否	3	石あり

【規準一般】				
点検項目	点検器具	判定	写真No	備考
① 頭部・胴体の挟み込み(100~230mm)	器具AB	2 合		
ハザードレベル3に該当する箇所がないこと	器具AB	3 合		
② 頭部または首の挟み込み(V字型開口部)	器具AB	3 合		
③ 指の挟み込み(φ8~25mm)	器具C	2 合		
④ 絡まり・引っ掛かり(突出部や隙間)	目視	2 合		
⑤ 衝突・転倒(突出部や段差)	目視	1 合		
衝突転倒が想定される場合、衝撃緩和への配慮	目視	2 合		
⑥ ボルト・ナット類による突起(引っ掛かり防止対策)	目視	1 合		
直接衝突の危険がある、ボルト・ナット類の突出対策	目視	2 合		
⑦ 鋭利な尖端・角・縁	目視触診	1 合		
⑧ 転落・落下 ガードレール	メジャー	1 合		
⑩ 救助対策	目視	1 合		
⑪ 基礎の設計(基礎の天端 土かぶり100mm以上)	メジャー	1 合		
基礎の露出がないこと	目視	2 合		
ハザードレベル3に該当する箇所がないこと	目視	3 合		

【劣化】				
本体部				
点検項目	点検器具	判定	写真No	備考
腐食がないか	目視打診	A	4	
摩耗がないか	目視触診	B	5	摩耗あり
ぐらつきがないか	揺診	A		
破損など	目視	A		

基礎部				
点検項目	点検器具	判定	写真No	備考
ぐらつきがないか(全数点検)	揺診	A		
衝撃吸収材などの破損	目視	A		

動物(固定型)定期点検表

管理番号 13

製品名	動物置物(ラクダ、パーゴラ脇)	所在施設名	鹿沼公園	住所	中央区鹿沼台2丁目15番
点検社				点検日	2025年12月15日
点検者				確認者	
製造者	不明	SPシール	無・有 ()	製造番号	
設置年月	年 月	経過年月	年 月	最大落下高さ	560 mm
構造部材1	コンクリート	構造部材2		消耗部材	
対象年齢シール	無・有	対象年齢	1歳~3歳・3歳~6歳・6歳~12歳・3歳~12歳・大人		

I. 機能に関する総合判定		II. 塗装に関する総合判定	
使用継続	A: 健全であり、修繕の必要がない B: 部分的に異常があり、部分修繕が必要 C: 重要な箇所部分的に異常があり、部分修繕が必要 D: 最重要部材等に異常があり、大規模な修繕または破棄し更新が必要	A: 再塗装の必要がない B: 部分的に塗装が必要 C: 全体的に塗装が必要	
可・不可			

ハザード	0: 傷害をもたらす物的ハザードがない状態 ① 軽度の傷害をもたらす状態 2: 重大であるが傷害が恒久的ではない状態 3: 生命に危険があるか、重度の傷害あるいは恒久的な障害をもたらす状態	劣化	A: 健全な状態 B: 軽微な劣化がある状態 C: 重度の劣化がある状態 D: 最重要部材に重度の劣化がある状態
------	---	----	---

特記事項	
------	--

【安全領域】				
点検項目	点検器具	判定	写真No	備考
全方向(落下高さ600mm以下の時、全方向1,500mm以上、全領域重複可)	メジャー	1 合	2	
上部空間、1,800mm以上	メジャー	1 合		
コンクリート・アスファルトなどの固い設置面でない	目視	3 合		
くぼみ・段差・石ころなどの障害物がないこと	目視	1 否	3	ガラあり

【規準一般】				
点検項目	点検器具	判定	写真No	備考
① 頭部・胴体の挟み込み(100~230mm)	器具AB	2 合		
ハザードレベル3に該当する箇所がないこと	器具AB	3 合		
② 頭部または首の挟み込み(V字型開口部)	器具AB	3 合		
③ 指の挟み込み(φ8~25mm)	器具C	2 合		
④ 絡まり・引っ掛かり(突出部や隙間)	目視	2 合		
⑤ 衝突・転倒(突出部や段差)	目視	1 合		
衝突転倒が想定される場合、衝撃緩和への配慮	目視	2 合		
⑥ ボルト・ナット類による突起(引っ掛かり防止対策)	目視	1 合		
直接衝突の危険がある、ボルト・ナット類の突出対策	目視	2 合		
⑦ 鋭利な尖端・角・縁	目視触診	1 合		
⑧ 転落・落下 ガードレール	メジャー	1 合		
⑩ 救助対策	目視	1 合		
⑪ 基礎の設計(基礎の天端 土かぶり100mm以上)	メジャー	1 合		
基礎の露出がないこと	目視	2 合		
ハザードレベル3に該当する箇所がないこと	目視	3 合		

【劣化】				
本体部				
点検項目	点検器具	判定	写真No	備考
腐食がないか	目視打診	A	4	
摩耗がないか	目視触診	A		
ぐらつきがないか	揺診	A		
破損など	目視	B	5	破損あり

基礎部				
点検項目	点検器具	判定	写真No	備考
ぐらつきがないか(全数点検)	揺診	A		
衝撃吸収材などの破損	目視	A		

動物(固定型)定期点検表

管理番号 14

製品名	動物置物(クジラ、東)	所在施設名	鹿沼公園	住所	中央区鹿沼台2丁目15番
点検社				点検日	2025年12月15日
点検者				確認者	
製造者	不明	SPシール	無・有 ()	製造番号	
設置年月	年 月	経過年月	年 月	最大落下高さ	850 mm
構造部材1	コンクリート	構造部材2		消耗部材	
対象年齢シール	無・有	対象年齢	1歳~3歳・3歳~6歳・6歳~12歳・3歳~12歳・大人		

I. 機能に関する総合判定		II. 塗装に関する総合判定	
使用継続	A: 健全であり、修繕の必要がない B: 部分的に異常があり、部分修繕が必要 C: 重要な箇所部分的に異常があり、部分修繕が必要 D: 最重要部材等に異常があり、大規模な修繕または破棄し更新が必要	A: 再塗装の必要がない B: 部分的に塗装が必要 C: 全体的に塗装が必要	
可・不可			

ハザード	① 傷害をもたらす物的ハザードがない状態 1: 軽度の傷害をもたらす状態 2: 重大であるが傷害が恒久的ではない状態 3: 生命に危険があるか、重度の傷害あるいは恒久的な障害をもたらす状態	劣化	A: 健全な状態 B: 軽微な劣化がある状態 C: 重度の劣化がある状態 D: 最重要部材に重度の劣化がある状態
------	---	----	---

特記事項	
------	--

【安全領域】				
点検項目	点検器具	判定	写真No	備考
全方向(落下高さ600mmを超える時、全方向1,800mm以上、1/2重複可)	メジャー	2 合		
上部空間、1,800mm以上	メジャー	1 合		
コンクリート・アスファルトなどの固い設置面でない	目視	3 合		
くぼみ・段差・石ころなどの障害物がないこと	目視	1 合		

【規準一般】				
点検項目	点検器具	判定	写真No	備考
① 頭部・胴体の挟み込み(100~230mm)	器具AB	2 合		
ハザードレベル3に該当する箇所がないこと	器具AB	3 合		
② 頭部または首の挟み込み(V字型開口部)	器具AB	3 合		
③ 指の挟み込み(φ8~25mm)	器具C	2 合		
④ 絡まり・引っ掛かり(突出部や隙間)	目視	2 合		
⑤ 衝突・転倒(突出部や段差)	目視	1 合		
衝突転倒が想定される場合、衝撃緩和への配慮	目視	2 合		
⑥ ボルト・ナット類による突起(引っ掛かり防止対策)	目視	1 合		
直接衝突の危険がある、ボルト・ナット類の突出対策	目視	2 合		
⑦ 鋭利な尖端・角・縁	目視触診	1 合		
⑧ 転落・落下 ガードレール	メジャー	1 合		
⑩ 救助対策	目視	1 合		
⑪ 基礎の設計(基礎の天端 土かぶり100mm以上)	メジャー	1 合		
基礎の露出がないこと	目視	2 合		
ハザードレベル3に該当する箇所がないこと	目視	3 合		

【劣化】				
本体部				
点検項目	点検器具	判定	写真No	備考
腐食がないか	目視打診	A	3	
摩耗がないか	目視触診	A		
ぐらつきがないか	揺診	A		
破損など	目視	B	4	破損あり

基礎部				
点検項目	点検器具	判定	写真No	備考
ぐらつきがないか(全数点検)	揺診	A		
衝撃吸収材などの破損	目視	A		

動物(固定型)定期点検表

管理番号 15

製品名	動物置物(クジラ、西)	所在施設名	鹿沼公園	住所	中央区鹿沼台2丁目15番
点検社				点検日	2025年12月15日
点検者				確認者	
製造者	不明	SPシール	無・有 ()	製造番号	
設置年月	年 月	経過年月	年 月	最大落下高さ	630 mm
構造部材1	コンクリート	構造部材2		消耗部材	
対象年齢シール	無・有	対象年齢	1歳~3歳・3歳~6歳・6歳~12歳・3歳~12歳・大人		

I. 機能に関する総合判定		II. 塗装に関する総合判定	
使用継続	A: 健全であり、修繕の必要がない B: 部分的に異常があり、部分修繕が必要 C: 重要な箇所部分的に異常があり、部分修繕が必要 D: 最重要部材等に異常があり、大規模な修繕または破棄し更新が必要	A: 再塗装の必要がない B: 部分的に塗装が必要 C: 全体的に塗装が必要	
可・不可			

ハザード	0: 傷害をもたらす物的ハザードがない状態 ① 軽度の傷害をもたらす状態 2: 重大であるが傷害が恒久的ではない状態 3: 生命に危険があるか、重度の傷害あるいは恒久的な障害をもたらす状態	劣化	A: 健全な状態 B: 軽微な劣化がある状態 C: 重度の劣化がある状態 D: 最重要部材に重度の劣化がある状態
------	---	----	---

特記事項	
------	--

【安全領域】				
点検項目	点検器具	判定	写真No	備考
全方向(落下高さ600mmを超える時、全方向1,800mm以上、1/2重複可)	メジャー	2 合	2	
上部空間、1,800mm以上	メジャー	1 合		
コンクリート・アスファルトなどの固い設置面でない	目視	3 合		
くぼみ・段差・石ころなどの障害物がないこと	目視	1 否	3	木の根あり

【規準一般】				
点検項目	点検器具	判定	写真No	備考
① 頭部・胴体の挟み込み(100~230mm)	器具AB	2 合		
ハザードレベル3に該当する箇所がないこと	器具AB	3 合		
② 頭部または首の挟み込み(V字型開口部)	器具AB	3 合		
③ 指の挟み込み(φ8~25mm)	器具C	2 合		
④ 絡まり・引っ掛かり(突出部や隙間)	目視	2 合		
⑤ 衝突・転倒(突出部や段差)	目視	1 合		
衝突転倒が想定される場合、衝撃緩和への配慮	目視	2 合		
⑥ ボルト・ナット類による突起(引っ掛かり防止対策)	目視	1 合		
直接衝突の危険がある、ボルト・ナット類の突出対策	目視	2 合		
⑦ 鋭利な尖端・角・縁	目視触診	1 合		
⑧ 転落・落下 ガードレール	メジャー	1 合		
⑩ 救助対策	目視	1 合		
⑪ 基礎の設計(基礎の天端 土かぶり100mm以上)	メジャー	1 合		
基礎の露出がないこと	目視	2 合		
ハザードレベル3に該当する箇所がないこと	目視	3 合		

【劣化】				
本体部				
点検項目	点検器具	判定	写真No	備考
腐食がないか	目視打診	A	4	
摩耗がないか	目視触診	B	5	摩耗あり
ぐらつきがないか	揺診	A		
破損など	目視	A		

基礎部				
点検項目	点検器具	判定	写真No	備考
ぐらつきがないか(全数点検)	揺診	A		
衝撃吸収材などの破損	目視	A		

動物(固定型)定期点検表

管理番号 16

製品名	動物置物(クマ、青)	所在施設名	鹿沼公園	住所	中央区鹿沼台2丁目15番
点検社				点検日	2025年12月15日
点検者				確認者	
製造者	不明	SPシール	無・有 ()	製造番号	
設置年月	年 月	経過年月	年 月	最大落下高さ	410 mm
構造部材1	コンクリート	構造部材2		消耗部材	
対象年齢シール	無・有	対象年齢	1歳~3歳・3歳~6歳・6歳~12歳・3歳~12歳・大人		

I. 機能に関する総合判定		II. 塗装に関する総合判定	
使用継続	A: 健全であり、修繕の必要がない B: 部分的に異常があり、部分修繕が必要 C: 重要な箇所部分的に異常があり、部分修繕が必要 D: 最重要部材等に異常があり、大規模な修繕または破棄し更新が必要	A: 再塗装の必要がない B: 部分的に塗装が必要 C: 全体的に塗装が必要	
可・不可			

ハザード	0: 傷害をもたらす物的ハザードがない状態 ① 軽度の傷害をもたらす状態 2: 重大であるが傷害が恒久的ではない状態 3: 生命に危険があるか、重度の傷害あるいは恒久的な障害をもたらす状態	劣化	A: 健全な状態 B: 軽微な劣化がある状態 C: 重度の劣化がある状態 D: 最重要部材に重度の劣化がある状態
------	---	----	---

特記事項	
------	--

【安全領域】				
点検項目	点検器具	判定	写真No	備考
全方向(落下高さ600mm以下の時、全方向1,500mm以上、全領域重複可)	メジャー	1 合		
上部空間、1,800mm以上	メジャー	1 合		
コンクリート・アスファルトなどの固い設置面でない	目視	3 合		
くぼみ・段差・石ころなどの障害物がないこと	目視	1 否	3	ガラあり

【規準一般】				
点検項目	点検器具	判定	写真No	備考
① 頭部・胴体の挟み込み(100~230mm)	器具AB	2 合		
ハザードレベル3に該当する箇所がないこと	器具AB	3 合		
② 頭部または首の挟み込み(V字型開口部)	器具AB	3 合		
③ 指の挟み込み(φ8~25mm)	器具C	2 合		
④ 絡まり・引っ掛かり(突出部や隙間)	目視	2 合		
⑤ 衝突・転倒(突出部や段差)	目視	1 合		
衝突転倒が想定される場合、衝撃緩和への配慮	目視	2 合		
⑥ ボルト・ナット類による突起(引っ掛かり防止対策)	目視	1 合		
直接衝突の危険がある、ボルト・ナット類の突出対策	目視	2 合		
⑦ 鋭利な尖端・角・縁	目視触診	1 合		
⑧ 転落・落下 ガードレール	メジャー	1 合		
⑩ 救助対策	目視	1 合		
⑪ 基礎の設計(基礎の天端 土かぶり100mm以上)	メジャー	1 合		
基礎の露出がないこと	目視	2 合		
ハザードレベル3に該当する箇所がないこと	目視	3 合		

【劣化】				
本体部				
点検項目	点検器具	判定	写真No	備考
腐食がないか	目視打診	A	4	
摩耗がないか	目視触診	A		
ぐらつきがないか	揺診	A		
破損など	目視	A		

基礎部				
点検項目	点検器具	判定	写真No	備考
ぐらつきがないか(全数点検)	揺診	A		
衝撃吸収材などの破損	目視	A		

動物(固定型)定期点検表

管理番号 17

製品名	動物置物(クマ、緑)	所在施設名	鹿沼公園	住所	中央区鹿沼台2丁目15番
点検社				点検日	2025年12月15日
点検者				確認者	
製造者	不明	SPシール	無・有 ()	製造番号	
設置年月	年 月	経過年月	年 月	最大落下高さ	400 mm
構造部材1	コンクリート	構造部材2		消耗部材	
対象年齢シール	無・有	対象年齢	1歳~3歳・3歳~6歳・6歳~12歳・3歳~12歳・大人		

I. 機能に関する総合判定		II. 塗装に関する総合判定	
使用継続	A: 健全であり、修繕の必要がない B: 部分的に異常があり、部分修繕が必要 C: 重要な箇所部分的に異常があり、部分修繕が必要 D: 最重要部材等に異常があり、大規模な修繕または破棄し更新が必要	A: 再塗装の必要がない B: 部分的に塗装が必要 C: 全体的に塗装が必要	
可・不可			

ハザード	0: 傷害をもたらす物的ハザードがない状態 ① 軽度の傷害をもたらす状態 2: 重大であるが傷害が恒久的ではない状態 3: 生命に危険があるか、重度の傷害あるいは恒久的な障害をもたらす状態	劣化	A: 健全な状態 B: 軽微な劣化がある状態 C: 重度の劣化がある状態 D: 最重要部材に重度の劣化がある状態
------	---	----	---

特記事項	
------	--

【安全領域】				
点検項目	点検器具	判定	写真No	備考
全方向(落下高さ600mm以下の時、全方向1,500mm以上、全領域重複可)	メジャー	1 合	2	
上部空間、1,800mm以上	メジャー	1 合		
コンクリート・アスファルトなどの固い設置面でない	目視	3 合		
くぼみ・段差・石ころなどの障害物がないこと	目視	1 否	3	ガラあり

【規準一般】				
点検項目	点検器具	判定	写真No	備考
① 頭部・胴体の挟み込み(100~230mm)	器具AB	2 合		
ハザードレベル3に該当する箇所がないこと	器具AB	3 合		
② 頭部または首の挟み込み(V字型開口部)	器具AB	3 合		
③ 指の挟み込み(φ8~25mm)	器具C	2 合		
④ 絡まり・引っ掛かり(突出部や隙間)	目視	2 合		
⑤ 衝突・転倒(突出部や段差)	目視	1 合		
衝突転倒が想定される場合、衝撃緩和への配慮	目視	2 合		
⑥ ボルト・ナット類による突起(引っ掛かり防止対策)	目視	1 合		
直接衝突の危険がある、ボルト・ナット類の突出対策	目視	2 合		
⑦ 鋭利な尖端・角・縁	目視触診	1 合		
⑧ 転落・落下 ガードレール	メジャー	1 合		
⑩ 救助対策	目視	1 合		
⑪ 基礎の設計(基礎の天端 土かぶり100mm以上)	メジャー	1 合		
基礎の露出がないこと	目視	2 合		
ハザードレベル3に該当する箇所がないこと	目視	3 合		

【劣化】				
本体部				
点検項目	点検器具	判定	写真No	備考
腐食がないか	目視打診	A	4	
摩耗がないか	目視触診	A		
ぐらつきがないか	揺診	A		
破損など	目視	B	5	破損あり

基礎部				
点検項目	点検器具	判定	写真No	備考
ぐらつきがないか(全数点検)	揺診	A		
衝撃吸収材などの破損	目視	A		

動物(固定型)定期点検表

管理番号 18

製品名	動物置物(カメ)	所在施設名	鹿沼公園	住所	中央区鹿沼台2丁目15番
点検社				点検日	2025年12月15日
点検者				確認者	
製造者	不明	SPシール	無・有 ()	製造番号	
設置年月	年 月	経過年月	年 月	最大落下高さ	510 mm
構造部材1	コンクリート	構造部材2		消耗部材	
対象年齢シール	無・有	対象年齢	1歳~3歳・3歳~6歳・6歳~12歳・3歳~12歳・大人		

I. 機能に関する総合判定		II. 塗装に関する総合判定	
使用継続	A: 健全であり、修繕の必要がない B: 部分的に異常があり、部分修繕が必要 C: 重要な箇所部分的に異常があり、部分修繕が必要 D: 最重要部材等に異常があり、大規模な修繕または破棄し更新が必要	A: 再塗装の必要がない B: 部分的に塗装が必要 C: 全体的に塗装が必要	
可・不可			

ハザード	① 傷害をもたらす物的ハザードがない状態 1: 軽度の傷害をもたらす状態 2: 重大であるが傷害が恒久的ではない状態 3: 生命に危険があるか、重度の傷害あるいは恒久的な障害をもたらす状態	劣化	A: 健全な状態 B: 軽微な劣化がある状態 C: 重度の劣化がある状態 D: 最重要部材に重度の劣化がある状態
------	---	----	---

特記事項	
------	--

【安全領域】				
点検項目	点検器具	判定	写真No	備考
全方向(落下高さ600mm以下の時、全方向1,500mm以上、全領域重複可)	メジャー	1 合		
上部空間、1,800mm以上	メジャー	1 合		
コンクリート・アスファルトなどの固い設置面でない	目視	3 合		
くぼみ・段差・石ころなどの障害物がないこと	目視	1 合		

【規準一般】				
点検項目	点検器具	判定	写真No	備考
① 頭部・胴体の挟み込み(100~230mm)	器具AB	2 合		
ハザードレベル3に該当する箇所がないこと	器具AB	3 合		
② 頭部または首の挟み込み(V字型開口部)	器具AB	3 合		
③ 指の挟み込み(φ8~25mm)	器具C	2 合		
④ 絡まり・引っ掛かり(突出部や隙間)	目視	2 合		
⑤ 衝突・転倒(突出部や段差)	目視	1 合		
衝突転倒が想定される場合、衝撃緩和への配慮	目視	2 合		
⑥ ボルト・ナット類による突起(引っ掛かり防止対策)	目視	1 合		
直接衝突の危険がある、ボルト・ナット類の突出対策	目視	2 合		
⑦ 鋭利な尖端・角・縁	目視触診	1 合		
⑧ 転落・落下 ガードレール	メジャー	1 合		
⑩ 救助対策	目視	1 合		
⑪ 基礎の設計(基礎の天端 土かぶり100mm以上)	メジャー	1 合		
基礎の露出がないこと	目視	2 合		
ハザードレベル3に該当する箇所がないこと	目視	3 合		

【劣化】				
本体部				
点検項目	点検器具	判定	写真No	備考
腐食がないか	目視打診	A	2	
摩耗がないか	目視触診	B	3	摩耗あり
ぐらつきがないか	揺診	A		
破損など	目視	B	4	亀裂あり

基礎部				
点検項目	点検器具	判定	写真No	備考
ぐらつきがないか(全数点検)	揺診	A		
衝撃吸収材などの破損	目視	A		

動物(固定型)定期点検表

管理番号 19

製品名	動物置物(アシカ)	所在施設名	鹿沼公園	住所	中央区鹿沼台2丁目15番
点検社				点検日	2025年12月15日
点検者				確認者	
製造者	不明	SPシール	無・有 ()	製造番号	
設置年月	年 月	経過年月	年 月	最大落下高さ	650 mm
構造部材1	コンクリート	構造部材2		消耗部材	
対象年齢シール	無・有	対象年齢	1歳~3歳・3歳~6歳・6歳~12歳・3歳~12歳・大人		

I. 機能に関する総合判定		II. 塗装に関する総合判定	
使用継続	A: 健全であり、修繕の必要がない B: 部分的に異常があり、部分修繕が必要 C: 重要な箇所部分的に異常があり、部分修繕が必要 D: 最重要部材等に異常があり、大規模な修繕または破棄し更新が必要	A: 再塗装の必要がない B: 部分的に塗装が必要 C: 全体的に塗装が必要	
可・不可			

ハザード	〇 傷害をもたらす物的ハザードがない状態 1: 軽度の傷害をもたらす状態 2: 重大であるが傷害が恒久的ではない状態 3: 生命に危険があるか、重度の傷害あるいは恒久的な障害をもたらす状態	劣化	A: 健全な状態 B: 軽微な劣化がある状態 C: 重度の劣化がある状態 D: 最重要部材に重度の劣化がある状態
------	---	----	---

特記事項	
------	--

【安全領域】				
点検項目	点検器具	判定	写真No	備考
全方向(落下高さ600mmを超える時、全方向1,800mm以上、1/2重複可)	メジャー	2 合	2	
上部空間、1,800mm以上	メジャー	1 合		
コンクリート・アスファルトなどの固い設置面でない	目視	3 合		
くぼみ・段差・石ころなどの障害物がないこと	目視	1 合		

【規準一般】				
点検項目	点検器具	判定	写真No	備考
① 頭部・胴体の挟み込み(100~230mm)	器具AB	2 合		
ハザードレベル3に該当する箇所がないこと	器具AB	3 合		
② 頭部または首の挟み込み(V字型開口部)	器具AB	3 合		
③ 指の挟み込み(φ8~25mm)	器具C	2 合		
④ 絡まり・引っ掛かり(突出部や隙間)	目視	2 合		
⑤ 衝突・転倒(突出部や段差)	目視	1 合		
衝突転倒が想定される場合、衝撃緩和への配慮	目視	2 合		
⑥ ボルト・ナット類による突起(引っ掛かり防止対策)	目視	1 合		
直接衝突の危険がある、ボルト・ナット類の突出対策	目視	2 合		
⑦ 鋭利な尖端・角・縁	目視触診	1 合		
⑧ 転落・落下 ガードレール	メジャー	1 合		
⑩ 救助対策	目視	1 合		
⑪ 基礎の設計(基礎の天端 土かぶり100mm以上)	メジャー	1 合		
基礎の露出がないこと	目視	2 合		
ハザードレベル3に該当する箇所がないこと	目視	3 合		

【劣化】				
本体部				
点検項目	点検器具	判定	写真No	備考
腐食がないか	目視打診	A	3	
摩耗がないか	目視触診	A		
ぐらつきがないか	揺診	A		
破損など	目視	B	4	亀裂あり

基礎部				
点検項目	点検器具	判定	写真No	備考
ぐらつきがないか(全数点検)	揺診	A		
衝撃吸収材などの破損	目視	A		

動物(固定型)定期点検表

管理番号 20

製品名	動物置物(カニ)	所在施設名	鹿沼公園	住所	中央区鹿沼台2丁目15番
点検社				点検日	2025年12月15日
点検者				確認者	
製造者	不明	SPシール	無・有 ()	製造番号	
設置年月	年 月	経過年月	年 月	最大落下高さ	600 mm
構造部材1	コンクリート	構造部材2		消耗部材	
対象年齢シール	無・有	対象年齢	1歳~3歳・3歳~6歳・6歳~12歳・3歳~12歳・大人		

I. 機能に関する総合判定		II. 塗装に関する総合判定	
使用継続	A: 健全であり、修繕の必要がない B: 部分的に異常があり、部分修繕が必要 C: 重要な箇所部分的に異常があり、部分修繕が必要 D: 最重要部材等に異常があり、大規模な修繕または破棄し更新が必要	A: 再塗装の必要がない B: 部分的に塗装が必要 C: 全体的に塗装が必要	
可・不可			

ハザード	① 傷害をもたらす物的ハザードがない状態 1: 軽度の傷害をもたらす状態 2: 重大であるが傷害が恒久的ではない状態 3: 生命に危険があるか、重度の傷害あるいは恒久的な障害をもたらす状態	劣化	A: 健全な状態 B: 軽微な劣化がある状態 C: 重度の劣化がある状態 D: 最重要部材に重度の劣化がある状態
------	---	----	---

特記事項	
------	--

【安全領域】				
点検項目	点検器具	判定	写真No	備考
全方向(落下高さ600mm以下の時、全方向1,500mm以上、全領域重複可)	メジャー	1 合	2	
上部空間、1,800mm以上	メジャー	1 合		
コンクリート・アスファルトなどの固い設置面でない	目視	3 合		
くぼみ・段差・石ころなどの障害物がないこと	目視	1 合		

【規準一般】				
点検項目	点検器具	判定	写真No	備考
① 頭部・胴体の挟み込み(100~230mm)	器具AB	2 合		
ハザードレベル3に該当する箇所がないこと	器具AB	3 合		
② 頭部または首の挟み込み(V字型開口部)	器具AB	3 合		
③ 指の挟み込み(φ8~25mm)	器具C	2 合		
④ 絡まり・引っ掛かり(突出部や隙間)	目視	2 合		
⑤ 衝突・転倒(突出部や段差)	目視	1 合		
衝突転倒が想定される場合、衝撃緩和への配慮	目視	2 合		
⑥ ボルト・ナット類による突起(引っ掛かり防止対策)	目視	1 合		
直接衝突の危険がある、ボルト・ナット類の突出対策	目視	2 合		
⑦ 鋭利な尖端・角・縁	目視触診	1 合		
⑧ 転落・落下 ガードレール	メジャー	1 合		
⑩ 救助対策	目視	1 合		
⑪ 基礎の設計(基礎の天端 土かぶり100mm以上)	メジャー	1 合		
基礎の露出がないこと	目視	2 合		
ハザードレベル3に該当する箇所がないこと	目視	3 合		

【劣化】				
本体部				
点検項目	点検器具	判定	写真No	備考
腐食がないか	目視打診	A	3	
摩耗がないか	目視触診	B	4	摩耗あり
ぐらつきがないか	揺診	A		
破損など	目視	A		

基礎部				
点検項目	点検器具	判定	写真No	備考
ぐらつきがないか(全数点検)	揺診	A		
衝撃吸収材などの破損	目視	A		

動物(固定型)定期点検表

管理番号 21

製品名	動物置物(カニ、西側駐車場脇)	所在施設名	鹿沼公園	住所	中央区鹿沼台2丁目15番
点検社				点検日	2025年12月15日
点検者				確認者	
製造者	不明	SPシール	無・有 ()	製造番号	
設置年月	年 月	経過年月	年 月	最大落下高さ	580 mm
構造部材1	コンクリート	構造部材2		消耗部材	
対象年齢シール	無・有	対象年齢	1歳~3歳・3歳~6歳・6歳~12歳・3歳~12歳・大人		
I. 機能に関する総合判定			II. 塗装に関する総合判定		
使用継続	A: 健全であり、修繕の必要がない B: 部分的に異常があり、部分修繕が必要 C: 重要な箇所部分的に異常があり、部分修繕が必要 D: 最重要部材等に異常があり、大規模な修繕または破棄し更新が必要			A: 再塗装の必要がない B: 部分的に塗装が必要 C: 全体的に塗装が必要	
ハザード	0: 傷害をもたらす物的ハザードがない状態 ① 軽度の傷害をもたらす状態 2: 重大であるが傷害が恒久的ではない状態 3: 生命に危険があるか、重度の傷害あるいは恒久的な障害をもたらす状態			劣化	A: 健全な状態 B: 軽微な劣化がある状態 C: 重度の劣化がある状態 D: 最重要部材に重度の劣化がある状態
特記事項					
【安全領域】					
点検項目		点検器具	判定	写真No	備考
全方向(落下高さ600mm以下の時、全方向1,500mm以上、全領域重複可)		メジャー	1 否	2	スツール近接
上部空間、1,800mm以上		メジャー	1 合		
コンクリート・アスファルトなどの固い設置面でない		目視	3 合		
くぼみ・段差・石ころなどの障害物がないこと		目視	1 否	3	木の根あり
【規準一般】					
点検項目		点検器具	判定	写真No	備考
① 頭部・胴体の挟み込み(100~230mm)		器具AB	2 合		
ハザードレベル3に該当する箇所がないこと		器具AB	3 合		
② 頭部または首の挟み込み(V字型開口部)		器具AB	3 合		
③ 指の挟み込み(φ8~25mm)		器具C	2 合		
④ 絡まり・引っ掛かり(突出部や隙間)		目視	2 合		
⑤ 衝突・転倒(突出部や段差)		目視	1 合		
衝突転倒が想定される場合、衝撃緩和への配慮		目視	2 合		
⑥ ボルト・ナット類による突起(引っ掛かり防止対策)		目視	1 合		
直接衝突の危険がある、ボルト・ナット類の突出対策		目視	2 合		
⑦ 鋭利な尖端・角・縁		目視触診	1 合		
⑧ 転落・落下 ガードレール		メジャー	1 合		
⑩ 救助対策		目視	1 合		
⑪ 基礎の設計(基礎の天端 土かぶり100mm以上)		メジャー	1 合		
基礎の露出がないこと		目視	2 合		
ハザードレベル3に該当する箇所がないこと		目視	3 合		
【劣化】					
本体部					
点検項目		点検器具	判定	写真No	備考
腐食がないか		目視打診	A	4	
摩耗がないか		目視触診	B	5	摩耗あり
ぐらつきがないか		揺診	A		
破損など		目視	A		
基礎部					
点検項目		点検器具	判定	写真No	備考
ぐらつきがないか(全数点検)		揺診	A		
衝撃吸収材などの破損		目視	A		

動物(固定型)定期点検表

管理番号 22

製品名	動物置物(タコ、西側駐車場脇)	所在施設名	鹿沼公園	住所	中央区鹿沼台2丁目15番
点検社				点検日	2025年12月15日
点検者				確認者	
製造者	不明	SPシール	無・有 ()	製造番号	
設置年月	年 月	経過年月	年 月	最大落下高さ	1,050 mm
構造部材1	コンクリート	構造部材2		消耗部材	
対象年齢シール	無・有	対象年齢	1歳~3歳・3歳~6歳・6歳~12歳・3歳~12歳・大人		
I. 機能に関する総合判定			II. 塗装に関する総合判定		
使用継続	A: 健全であり、修繕の必要がない B: 部分的に異常があり、部分修繕が必要 C: 重要な箇所部分的に異常があり、部分修繕が必要 D: 最重要部材等に異常があり、大規模な修繕または破棄し更新が必要			A: 再塗装の必要がない B: 部分的に塗装が必要 C: 全体的に塗装が必要	
可・不可	C			C	
ハザード	0: 傷害をもたらす物的ハザードがない状態 1: 軽度の傷害をもたらす状態 2: 重大であるが傷害が恒久的ではない状態 3: 生命に危険があるか、重度の傷害あるいは恒久的な障害をもたらす状態			劣化 A: 健全な状態 B: 軽微な劣化がある状態 C: 重度の劣化がある状態 D: 最重要部材に重度の劣化がある状態	
特記事項	スツール近接 本体部 亀裂あり				
【安全領域】					
点検項目		点検器具	判定	写真No	備考
全方向(落下高さ600mmを超える時、全方向1,800mm以上、1/2重複可)		メジャー	2 否	2	スツール近接
上部空間、1,800mm以上		メジャー	1 合		
コンクリート・アスファルトなどの固い設置面でない		目視	3 合		
くぼみ・段差・石ころなどの障害物がないこと		目視	1 否	3	石あり
【規準一般】					
点検項目		点検器具	判定	写真No	備考
① 頭部・胴体の挟み込み(100~230mm)		器具AB	2 合		
ハザードレベル3に該当する箇所がないこと		器具AB	3 合		
② 頭部または首の挟み込み(V字型開口部)		器具AB	3 合		
③ 指の挟み込み(φ8~25mm)		器具C	2 合		
④ 絡まり・引っ掛かり(突出部や隙間)		目視	2 合		
⑤ 衝突・転倒(突出部や段差)		目視	1 合		
衝突転倒が想定される場合、衝撃緩和への配慮		目視	2 合		
⑥ ボルト・ナット類による突起(引っ掛かり防止対策)		目視	1 合		
直接衝突の危険がある、ボルト・ナット類の突出対策		目視	2 合		
⑦ 鋭利な尖端・角・縁		目視触診	1 合		
⑧ 転落・落下 ガードレール		メジャー	1 合		
⑩ 救助対策		目視	1 合		
⑪ 基礎の設計(基礎の天端 土かぶり100mm以上)		メジャー	1 合		
基礎の露出がないこと		目視	2 合		
ハザードレベル3に該当する箇所がないこと		目視	3 合		
【劣化】					
本体部					
点検項目		点検器具	判定	写真No	備考
腐食がないか		目視打診	A		
摩耗がないか		目視触診	B	4	摩耗あり
ぐらつきがないか		揺診	A		
破損など		目視	C	5	亀裂あり
基礎部					
点検項目		点検器具	判定	写真No	備考
ぐらつきがないか(全数点検)		揺診	A		
衝撃吸収材などの破損		目視	A		

動物(固定型)定期点検表

管理番号 23

製品名	動物置物(白鳥、西側駐車場脇)	所在施設名	鹿沼公園	住所	中央区鹿沼台2丁目15番
点検社				点検日	2025年12月15日
点検者				確認者	
製造者	不明	SPシール	無・有 ()	製造番号	
設置年月	年 月	経過年月	年 月	最大落下高さ	1,080 mm
構造部材1	コンクリート	構造部材2		消耗部材	
対象年齢シール	無・有	対象年齢	1歳~3歳・3歳~6歳・6歳~12歳・3歳~12歳・大人		

I. 機能に関する総合判定		II. 塗装に関する総合判定	
使用継続	A: 健全であり、修繕の必要がない B: 部分的に異常があり、部分修繕が必要 C: 重要な箇所部分的に異常があり、部分修繕が必要 D: 最重要部材等に異常があり、大規模な修繕または破棄し更新が必要	A: 再塗装の必要がない B: 部分的に塗装が必要 C: 全体的に塗装が必要	
可・不可	無		

ハザード	0: 傷害をもたらす物的ハザードがない状態 1: 軽度の傷害をもたらす状態 2: 重大であるが傷害が恒久的ではない状態 3: 生命に危険があるか、重度の傷害あるいは恒久的な障害をもたらす状態	劣化	A: 健全な状態 B: 軽微な劣化がある状態 C: 重度の劣化がある状態 D: 最重要部材に重度の劣化がある状態
------	--	----	---

特記事項
マンホール近接
本体部 傾きあり

【安全領域】				
点検項目	点検器具	判定	写真No	備考
全方向(落下高さ600mmを超える時、全方向1,800mm以上、1/2重複可)	メジャー	2 否	2	マンホール近接
上部空間、1,800mm以上	メジャー	1 合		
コンクリート・アスファルトなどの固い設置面でない	目視	3 合		
くぼみ・段差・石ころなどの障害物がないこと	目視	1 否	3	木の根あり

【規準一般】				
点検項目	点検器具	判定	写真No	備考
① 頭部・胴体の挟み込み(100~230mm)	器具AB	2 合		
ハザードレベル3に該当する箇所がないこと	器具AB	3 合		
② 頭部または首の挟み込み(V字型開口部)	器具AB	3 合		
③ 指の挟み込み(φ8~25mm)	器具C	2 合		
④ 絡まり・引っ掛かり(突出部や隙間)	目視	2 合		
⑤ 衝突・転倒(突出部や段差)	目視	1 合		
衝突転倒が想定される場合、衝撃緩和への配慮	目視	2 合		
⑥ ボルト・ナット類による突起(引っ掛かり防止対策)	目視	1 合		
直接衝突の危険がある、ボルト・ナット類の突出対策	目視	2 合		
⑦ 鋭利な尖端・角・縁	目視触診	1 合		
⑧ 転落・落下 ガードレール	メジャー	1 合		
⑩ 救助対策	目視	1 合		
⑪ 基礎の設計(基礎の天端 土かぶり100mm以上)	メジャー	1 合		
基礎の露出がないこと	目視	2 合		
ハザードレベル3に該当する箇所がないこと	目視	3 合		

【劣化】				
本体部				
点検項目	点検器具	判定	写真No	備考
腐食がないか	目視打診	A		
摩耗がないか	目視触診	B	4	摩耗あり
ぐらつきがないか	揺診	A		
破損など	目視	C	5,6	破損あり・傾きあり

基礎部				
点検項目	点検器具	判定	写真No	備考
ぐらつきがないか(全数点検)	揺診	A		
衝撃吸収材などの破損	目視	A		

動物(固定型)定期点検表

管理番号 24

製品名	置物(クジラ、北、カートコース)	所在施設名	鹿沼公園	住所	中央区鹿沼台2丁目15番
点検社				点検日	2025年12月15日
点検者				確認者	
製造者	不明	SPシール	無・有 ()	製造番号	
設置年月	年 月	経過年月	年 月	最大落下高さ	670 mm
構造部材1	コンクリート	構造部材2		消耗部材	
対象年齢シール	無・有	対象年齢	1歳~3歳・3歳~6歳・6歳~12歳・3歳~12歳・大人		

I. 機能に関する総合判定		II. 塗装に関する総合判定	
使用継続	A: 健全であり、修繕の必要がない B: 部分的に異常があり、部分修繕が必要 C: 重要な箇所部分的に異常があり、部分修繕が必要 D: 最重要部材等に異常があり、大規模な修繕または破棄し更新が必要	A: 再塗装の必要がない B: 部分的に塗装が必要 C: 全体的に塗装が必要	
可・不可			

ハザード	0: 傷害をもたらす物的ハザードがない状態 ① 軽度の傷害をもたらす状態 2: 重大であるが傷害が恒久的ではない状態 3: 生命に危険があるか、重度の傷害あるいは恒久的な障害をもたらす状態	劣化	A: 健全な状態 B: 軽微な劣化がある状態 C: 重度の劣化がある状態 D: 最重要部材に重度の劣化がある状態
------	---	----	---

特記事項	
------	--

【安全領域】				
点検項目	点検器具	判定	写真No	備考
全方向(落下高さ600mmを超える時、全方向1,800mm以上、1/2重複可)	メジャー	2 合	2	
上部空間、1,800mm以上	メジャー	1 合		
コンクリート・アスファルトなどの固い設置面でない	目視	3 合		
くぼみ・段差・石ころなどの障害物がないこと	目視	1 否	3	木の根あり

【規準一般】				
点検項目	点検器具	判定	写真No	備考
① 頭部・胴体の挟み込み(100~230mm)	器具AB	2 合		
ハザードレベル3に該当する箇所がないこと	器具AB	3 合		
② 頭部または首の挟み込み(V字型開口部)	器具AB	3 合		
③ 指の挟み込み(φ8~25mm)	器具C	2 合		
④ 絡まり・引っ掛かり(突出部や隙間)	目視	2 合		
⑤ 衝突・転倒(突出部や段差)	目視	1 合		
衝突転倒が想定される場合、衝撃緩和への配慮	目視	2 合		
⑥ ボルト・ナット類による突起(引っ掛かり防止対策)	目視	1 合		
直接衝突の危険がある、ボルト・ナット類の突出対策	目視	2 合		
⑦ 鋭利な尖端・角・縁	目視触診	1 合		
⑧ 転落・落下 ガードレール	メジャー	1 合		
⑩ 救助対策	目視	1 合		
⑪ 基礎の設計(基礎の天端 土かぶり100mm以上)	メジャー	1 合		
基礎の露出がないこと	目視	2 合		
ハザードレベル3に該当する箇所がないこと	目視	3 合		

【劣化】				
本体部				
点検項目	点検器具	判定	写真No	備考
腐食がないか	目視打診	A		
摩耗がないか	目視触診	B	4	摩耗あり
ぐらつきがないか	揺診	A		
破損など	目視	B	5	破損あり

基礎部				
点検項目	点検器具	判定	写真No	備考
ぐらつきがないか(全数点検)	揺診	A		
衝撃吸収材などの破損	目視	A		

動物(固定型)定期点検表

管理番号 25

製品名	物置物(クジラ、南、カートコース)	所在施設名	鹿沼公園	住所	中央区鹿沼台2丁目15番
点検社				点検日	2025年12月15日
点検者				確認者	
製造者	不明	SPシール	無・有 ()	製造番号	
設置年月	年 月	経過年月	年 月	最大落下高さ	840 mm
構造部材1	コンクリート	構造部材2		消耗部材	
対象年齢シール	無・有	対象年齢	1歳~3歳・3歳~6歳・6歳~12歳・3歳~12歳・大人		

I. 機能に関する総合判定		II. 塗装に関する総合判定	
使用継続	A: 健全であり、修繕の必要がない B: 部分的に異常があり、部分修繕が必要 C: 重要な箇所部分的に異常があり、部分修繕が必要 D: 最重要部材等に異常があり、大規模な修繕または破棄し更新が必要	A: 再塗装の必要がない B: 部分的に塗装が必要 C: 全体的に塗装が必要	
可・不可			

ハザード	0: 傷害をもたらす物的ハザードがない状態 ① 軽度の傷害をもたらす状態 2: 重大であるが傷害が恒久的ではない状態 3: 生命に危険があるか、重度の傷害あるいは恒久的な障害をもたらす状態	劣化	A: 健全な状態 B: 軽微な劣化がある状態 C: 重度の劣化がある状態 D: 最重要部材に重度の劣化がある状態
------	---	----	---

特記事項	
------	--

【安全領域】				
点検項目	点検器具	判定	写真No	備考
全方向(落下高さ600mmを超える時、全方向1,800mm以上、1/2重複可)	メジャー	2 合	2	
上部空間、1,800mm以上	メジャー	1 合		
コンクリート・アスファルトなどの固い設置面でない	目視	3 合		
くぼみ・段差・石ころなどの障害物がないこと	目視	1 否	3	木の根あり

【規準一般】				
点検項目	点検器具	判定	写真No	備考
① 頭部・胴体の挟み込み(100~230mm)	器具AB	2 合		
ハザードレベル3に該当する箇所がないこと	器具AB	3 合		
② 頭部または首の挟み込み(V字型開口部)	器具AB	3 合		
③ 指の挟み込み(φ8~25mm)	器具C	2 合		
④ 絡まり・引っ掛かり(突出部や隙間)	目視	2 合		
⑤ 衝突・転倒(突出部や段差)	目視	1 合		
衝突転倒が想定される場合、衝撃緩和への配慮	目視	2 合		
⑥ ボルト・ナット類による突起(引っ掛かり防止対策)	目視	1 合		
直接衝突の危険がある、ボルト・ナット類の突出対策	目視	2 合		
⑦ 鋭利な尖端・角・縁	目視触診	1 合		
⑧ 転落・落下 ガードレール	メジャー	1 合		
⑩ 救助対策	目視	1 合		
⑪ 基礎の設計(基礎の天端 土かぶり100mm以上)	メジャー	1 合		
基礎の露出がないこと	目視	2 合		
ハザードレベル3に該当する箇所がないこと	目視	3 合		

【劣化】				
本体部				
点検項目	点検器具	判定	写真No	備考
腐食がないか	目視打診	A		
摩耗がないか	目視触診	B	4	摩耗あり
ぐらつきがないか	揺診	A		
破損など	目視	B	5	破損あり

基礎部				
点検項目	点検器具	判定	写真No	備考
ぐらつきがないか(全数点検)	揺診	A		
衝撃吸収材などの破損	目視	A		

動物(固定型)定期点検表

管理番号 26

製品名	置物(パンダ、北、カートコース)	所在施設名	鹿沼公園	住所	中央区鹿沼台2丁目15番
点検社		点検日	2025年12月15日		
点検者		確認者			
製造者	不明	SPシール	無・有 ()	製造番号	
設置年月	年 月	経過年月	年 月	最大落下高さ	670 mm
構造部材1	コンクリート	構造部材2		消耗部材	
対象年齢シール	無・有	対象年齢	1歳~3歳・3歳~6歳・6歳~12歳・3歳~12歳・大人		
I. 機能に関する総合判定			II. 塗装に関する総合判定		
使用継続	A: 健全であり、修繕の必要がない B: 部分的に異常があり、部分修繕が必要 C: 重要な箇所部分的に異常があり、部分修繕が必要 D: 最重要部材等に異常があり、大規模な修繕または破棄し更新が必要			A: 再塗装の必要がない B: 部分的に塗装が必要 C: 全体的に塗装が必要	
○可 不可	○C			劣化 ○C	
ハザード	○ 傷害をもたらす物的ハザードがない状態 1: 軽度の傷害をもたらす状態 2: 重大であるが傷害が恒久的ではない状態 3: 生命に危険があるか、重度の傷害あるいは恒久的な障害をもたらす状態			劣化 A: 健全な状態 B: 軽微な劣化がある状態 C: 重度の劣化がある状態 D: 最重要部材に重度の劣化がある状態	
特記事項	本体部 破損あり				
【安全領域】					
点検項目		点検器具	判定	写真No	備考
全方向(落下高さ600mmを超える時、全方向1,800mm以上、1/2重複可)		メジャー	2 合	2	
上部空間、1,800mm以上		メジャー	1 合		
コンクリート・アスファルトなどの固い設置面でない		目視	3 合		
くぼみ・段差・石ころなどの障害物がないこと		目視	1 合		
【規準一般】					
点検項目		点検器具	判定	写真No	備考
① 頭部・胴体の挟み込み(100~230mm)		器具AB	2 合		
ハザードレベル3に該当する箇所がないこと		器具AB	3 合		
② 頭部または首の挟み込み(V字型開口部)		器具AB	3 合		
③ 指の挟み込み(φ8~25mm)		器具C	2 合		
④ 絡まり・引っ掛かり(突出部や隙間)		目視	2 合		
⑤ 衝突・転倒(突出部や段差)		目視	1 合		
衝突転倒が想定される場合、衝撃緩和への配慮		目視	2 合		
⑥ ボルト・ナット類による突起(引っ掛かり防止対策)		目視	1 合		
直接衝突の危険がある、ボルト・ナット類の突出対策		目視	2 合		
⑦ 鋭利な尖端・角・縁		目視触診	1 合		
⑧ 転落・落下 ガードレール		メジャー	1 合		
⑩ 救助対策		目視	1 合		
⑪ 基礎の設計(基礎の天端 土かぶり100mm以上)		メジャー	1 合		
基礎の露出がないこと		目視	2 合		
ハザードレベル3に該当する箇所がないこと		目視	3 合		
【劣化】					
本体部					
点検項目		点検器具	判定	写真No	備考
腐食がないか		目視打診	A		
摩耗がないか		目視触診	A		
ぐらつきがないか		揺診	A		
破損など		目視	C	3,4	破損あり・亀裂あり
基礎部					
点検項目		点検器具	判定	写真No	備考
ぐらつきがないか(全数点検)		揺診	A		
衝撃吸収材などの破損		目視	A		

動物(固定型)定期点検表

管理番号 27

製品名	置物(パンダ、南、カートコース)	所在施設名	鹿沼公園	住所	中央区鹿沼台2丁目15番
点検社				点検日	2025年12月15日
点検者				確認者	
製造者	不明	SPシール	無・有 ()	製造番号	
設置年月	年 月	経過年月	年 月	最大落下高さ	550 mm
構造部材1	コンクリート	構造部材2		消耗部材	
対象年齢シール	無・有	対象年齢	1歳~3歳・3歳~6歳・6歳~12歳・3歳~12歳・大人		

I. 機能に関する総合判定		II. 塗装に関する総合判定	
使用継続	A: 健全であり、修繕の必要がない B: 部分的に異常があり、部分修繕が必要 C: 重要な箇所部分的に異常があり、部分修繕が必要 D: 最重要部材等に異常があり、大規模な修繕または破棄し更新が必要	A: 再塗装の必要がない B: 部分的に塗装が必要 C: 全体的に塗装が必要	
可・不可	無・有		

ハザード	① 傷害をもたらす物的ハザードがない状態 1: 軽度の傷害をもたらす状態 2: 重大であるが傷害が恒久的ではない状態 3: 生命に危険があるか、重度の傷害あるいは恒久的な障害をもたらす状態	劣化	A: 健全な状態 B: 軽微な劣化がある状態 C: 重度の劣化がある状態 D: 最重要部材に重度の劣化がある状態
------	---	----	---

特記事項 本体部 破損あり

【安全領域】				
点検項目	点検器具	判定	写真No	備考
全方向(落下高さ600mm以下の時、全方向1,500mm以上、全領域重複可)	メジャー	1 合	2	
上部空間、1,800mm以上	メジャー	1 合		
コンクリート・アスファルトなどの固い設置面でない	目視	3 合		
くぼみ・段差・石ころなどの障害物がないこと	目視	1 合		

【規準一般】				
点検項目	点検器具	判定	写真No	備考
① 頭部・胴体の挟み込み(100~230mm)	器具AB	2 合		
ハザードレベル3に該当する箇所がないこと	器具AB	3 合		
② 頭部または首の挟み込み(V字型開口部)	器具AB	3 合		
③ 指の挟み込み(φ8~25mm)	器具C	2 合		
④ 絡まり・引っ掛かり(突出部や隙間)	目視	2 合		
⑤ 衝突・転倒(突出部や段差)	目視	1 合		
衝突転倒が想定される場合、衝撃緩和への配慮	目視	2 合		
⑥ ボルト・ナット類による突起(引っ掛かり防止対策)	目視	1 合		
直接衝突の危険がある、ボルト・ナット類の突出対策	目視	2 合		
⑦ 鋭利な尖端・角・縁	目視触診	1 合		
⑧ 転落・落下 ガードレール	メジャー	1 合		
⑩ 救助対策	目視	1 合		
⑪ 基礎の設計(基礎の天端 土かぶり100mm以上)	メジャー	1 合		
基礎の露出がないこと	目視	2 合		
ハザードレベル3に該当する箇所がないこと	目視	3 合		

【劣化】				
本体部				
点検項目	点検器具	判定	写真No	備考
腐食がないか	目視打診	A		
摩耗がないか	目視触診	A		
ぐらつきがないか	揺診	A		
破損など	目視	C	3	破損あり

基礎部				
点検項目	点検器具	判定	写真No	備考
ぐらつきがないか(全数点検)	揺診	A		
衝撃吸収材などの破損	目視	A		

動物(固定型)定期点検表

管理番号 28

製品名	動物置物(タコ、カートコース脇)	所在施設名	鹿沼公園	住所	中央区鹿沼台2丁目15番
点検社				点検日	2025年12月15日
点検者				確認者	
製造者	不明	SPシール	無・有 ()	製造番号	
設置年月	年 月	経過年月	年 月	最大落下高さ	1,090 mm
構造部材1	コンクリート	構造部材2		消耗部材	
対象年齢シール	無・有	対象年齢	1歳~3歳・3歳~6歳・6歳~12歳・3歳~12歳・大人		

I. 機能に関する総合判定		II. 塗装に関する総合判定	
使用継続	A: 健全であり、修繕の必要がない B: 部分的に異常があり、部分修繕が必要 C: 重要な箇所部分的に異常があり、部分修繕が必要 D: 最重要部材等に異常があり、大規模な修繕または破棄し更新が必要	A: 再塗装の必要がない B: 部分的に塗装が必要 C: 全体的に塗装が必要	
可・不可	可		

ハザード	0: 傷害をもたらす物的ハザードがない状態 1: 軽度の傷害をもたらす状態 2: 重大であるが傷害が恒久的ではない状態 3: 生命に危険があるか、重度の傷害あるいは恒久的な障害をもたらす状態	劣化	A: 健全な状態 B: 軽微な劣化がある状態 C: 重度の劣化がある状態 D: 最重要部材に重度の劣化がある状態
------	--	----	---

特記事項	本体部 破損あり
------	----------

【安全領域】				
点検項目	点検器具	判定	写真No	備考
全方向(落下高さ600mmを超える時、全方向1,800mm以上、1/2重複可)	メジャー	2 合		
上部空間、1,800mm以上	メジャー	1 合		
コンクリート・アスファルトなどの固い設置面でない	目視	3 合		
くぼみ・段差・石ころなどの障害物がないこと	目視	1 合		

【規準一般】				
点検項目	点検器具	判定	写真No	備考
① 頭部・胴体の挟み込み(100~230mm)	器具AB	2 合		
ハザードレベル3に該当する箇所がないこと	器具AB	3 合		
② 頭部または首の挟み込み(V字型開口部)	器具AB	3 合		
③ 指の挟み込み(φ8~25mm)	器具C	2 合		
④ 絡まり・引っ掛かり(突出部や隙間)	目視	2 合		
⑤ 衝突・転倒(突出部や段差)	目視	1 合		
衝突転倒が想定される場合、衝撃緩和への配慮	目視	2 合		
⑥ ボルト・ナット類による突起(引っ掛かり防止対策)	目視	1 合		
直接衝突の危険がある、ボルト・ナット類の突出対策	目視	2 合		
⑦ 鋭利な尖端・角・縁	目視触診	1 合		
⑧ 転落・落下 ガードレール	メジャー	1 合		
⑩ 救助対策	目視	1 合		
⑪ 基礎の設計(基礎の天端 土かぶり100mm以上)	メジャー	1 合		
基礎の露出がないこと	目視	2 合		
ハザードレベル3に該当する箇所がないこと	目視	3 合		

【劣化】				
本体部				
点検項目	点検器具	判定	写真No	備考
腐食がないか	目視打診	A		
摩耗がないか	目視触診	B	3	摩耗あり
ぐらつきがないか	揺診	A		
破損など	目視	C	4	破損あり

基礎部				
点検項目	点検器具	判定	写真No	備考
ぐらつきがないか(全数点検)	揺診	A		
衝撃吸収材などの破損	目視	A		

動物(固定型)定期点検表

管理番号 29

製品名	動物置物(白鳥、カートコース脇)	所在施設名	鹿沼公園	住所	中央区鹿沼台2丁目15番
点検社				点検日	2025年12月15日
点検者				確認者	
製造者	不明	SPシール	無・有 ()	製造番号	
設置年月	年 月	経過年月	年 月	最大落下高さ	930 mm
構造部材1	コンクリート	構造部材2		消耗部材	
対象年齢シール	無・有	対象年齢	1歳~3歳・3歳~6歳・6歳~12歳・3歳~12歳・大人		

I. 機能に関する総合判定		II. 塗装に関する総合判定	
使用継続	A: 健全であり、修繕の必要がない B: 部分的に異常があり、部分修繕が必要 C: 重要な箇所部分的に異常があり、部分修繕が必要 D: 最重要部材等に異常があり、大規模な修繕または破棄し更新が必要	A: 再塗装の必要がない B: 部分的に塗装が必要 C: 全体的に塗装が必要	
可・不可			

ハザード	0: 傷害をもたらす物的ハザードがない状態 ① 軽度の傷害をもたらす状態 2: 重大であるが傷害が恒久的ではない状態 3: 生命に危険があるか、重度の傷害あるいは恒久的な障害をもたらす状態	劣化	A: 健全な状態 B: 軽微な劣化がある状態 C: 重度の劣化がある状態 D: 最重要部材に重度の劣化がある状態
------	---	----	---

特記事項	
------	--

【安全領域】				
点検項目	点検器具	判定	写真No	備考
全方向(落下高さ600mmを超える時、全方向1,800mm以上、1/2重複可)	メジャー	2 合		
上部空間、1,800mm以上	メジャー	1 合		
コンクリート・アスファルトなどの固い設置面でない	目視	3 合		
くぼみ・段差・石ころなどの障害物がないこと	目視	1 否	3	木の根あり

【規準一般】				
点検項目	点検器具	判定	写真No	備考
① 頭部・胴体の挟み込み(100~230mm)	器具AB	2 合		
ハザードレベル3に該当する箇所がないこと	器具AB	3 合		
② 頭部または首の挟み込み(V字型開口部)	器具AB	3 合		
③ 指の挟み込み(φ8~25mm)	器具C	2 合		
④ 絡まり・引っ掛かり(突出部や隙間)	目視	2 合		
⑤ 衝突・転倒(突出部や段差)	目視	1 合		
衝突転倒が想定される場合、衝撃緩和への配慮	目視	2 合		
⑥ ボルト・ナット類による突起(引っ掛かり防止対策)	目視	1 合		
直接衝突の危険がある、ボルト・ナット類の突出対策	目視	2 合		
⑦ 鋭利な尖端・角・縁	目視触診	1 合		
⑧ 転落・落下 ガードレール	メジャー	1 合		
⑩ 救助対策	目視	1 合		
⑪ 基礎の設計(基礎の天端 土かぶり100mm以上)	メジャー	1 合		
基礎の露出がないこと	目視	2 合		
ハザードレベル3に該当する箇所がないこと	目視	3 合		

【劣化】				
本体部				
点検項目	点検器具	判定	写真No	備考
腐食がないか	目視打診	A		
摩耗がないか	目視触診	B	4	摩耗あり
ぐらつきがないか	揺診	A		
破損など	目視	B	5	破損あり

基礎部				
点検項目	点検器具	判定	写真No	備考
ぐらつきがないか(全数点検)	揺診	A		
衝撃吸収材などの破損	目視	A		

動物(固定型)定期点検表

管理番号 30

製品名	物置物(サカナ、カートコース)	所在施設名	鹿沼公園	住所	中央区鹿沼台2丁目15番
点検社				点検日	2025年12月15日
点検者				確認者	
製造者	不明	SPシール	無・有()	製造番号	
設置年月	年 月	経過年月	年 月	最大落下高さ	560 mm
構造部材1	コンクリート	構造部材2		消耗部材	
対象年齢シール	無・有	対象年齢	1歳~3歳・3歳~6歳・6歳~12歳・3歳~12歳・大人		

I. 機能に関する総合判定		II. 塗装に関する総合判定	
使用継続	A: 健全であり、修繕の必要がない B: 部分的に異常があり、部分修繕が必要 C: 重要な箇所部分的に異常があり、部分修繕が必要 D: 最重要部材等に異常があり、大規模な修繕または破棄し更新が必要	A: 再塗装の必要がない B: 部分的に塗装が必要 C: 全体的に塗装が必要	
可・不可			

ハザード	0: 傷害をもたらす物的ハザードがない状態 ① 軽度の傷害をもたらす状態 2: 重大であるが傷害が恒久的ではない状態 3: 生命に危険があるか、重度の傷害あるいは恒久的な障害をもたらす状態	劣化	A: 健全な状態 B: 軽微な劣化がある状態 C: 重度の劣化がある状態 D: 最重要部材に重度の劣化がある状態
------	---	----	---

特記事項	
------	--

【安全領域】				
点検項目	点検器具	判定	写真No	備考
全方向(落下高さ600mm以下の時、全方向1,500mm以上、全領域重複可)	メジャー	1 合	2	
上部空間、1,800mm以上	メジャー	1 合		
コンクリート・アスファルトなどの固い設置面でない	目視	3 合		
くぼみ・段差・石ころなどの障害物がないこと	目視	1 否	3	木の根あり

【規準一般】				
点検項目	点検器具	判定	写真No	備考
① 頭部・胴体の挟み込み(100~230mm)	器具AB	2 合		
ハザードレベル3に該当する箇所がないこと	器具AB	3 合		
② 頭部または首の挟み込み(V字型開口部)	器具AB	3 合		
③ 指の挟み込み(φ8~25mm)	器具C	2 合		
④ 絡まり・引っ掛かり(突出部や隙間)	目視	2 合		
⑤ 衝突・転倒(突出部や段差)	目視	1 合		
衝突転倒が想定される場合、衝撃緩和への配慮	目視	2 合		
⑥ ボルト・ナット類による突起(引っ掛かり防止対策)	目視	1 合		
直接衝突の危険がある、ボルト・ナット類の突出対策	目視	2 合		
⑦ 鋭利な尖端・角・縁	目視触診	1 合		
⑧ 転落・落下 ガードレール	メジャー	1 合		
⑩ 救助対策	目視	1 合		
⑪ 基礎の設計(基礎の天端 土かぶり100mm以上)	メジャー	1 合		
基礎の露出がないこと	目視	2 合		
ハザードレベル3に該当する箇所がないこと	目視	3 合		

【劣化】				
本体部				
点検項目	点検器具	判定	写真No	備考
腐食がないか	目視打診	A		
摩耗がないか	目視触診	B	4	摩耗あり
ぐらつきがないか	揺診	A		
破損など	目視	B	5	亀裂あり

基礎部				
点検項目	点検器具	判定	写真No	備考
ぐらつきがないか(全数点検)	揺診	A		
衝撃吸収材などの破損	目視	A		

動物(固定型)定期点検表

管理番号 31

製品名	動物置物(カメ、西側入口脇)	所在施設名	鹿沼公園	住所	中央区鹿沼台2丁目15番
点検社				点検日	2025年12月15日
点検者				確認者	
製造者	不明	SPシール	無・有 ()	製造番号	
設置年月	年 月	経過年月	年 月	最大落下高さ	550 mm
構造部材1	コンクリート	構造部材2		消耗部材	
対象年齢シール	無・有	対象年齢	1歳~3歳・3歳~6歳・6歳~12歳・3歳~12歳・大人		
I. 機能に関する総合判定			II. 塗装に関する総合判定		
使用継続	A: 健全であり、修繕の必要がない B: 部分的に異常があり、部分修繕が必要 C: 重要な箇所部分的に異常があり、部分修繕が必要 D: 最重要部材等に異常があり、大規模な修繕または破棄し更新が必要			A: 再塗装の必要がない B: 部分的に塗装が必要 C: 全体的に塗装が必要	
ハザード	0: 傷害をもたらす物的ハザードがない状態 ① 軽度の傷害をもたらす状態 2: 重大であるが傷害が恒久的ではない状態 3: 生命に危険があるか、重度の傷害あるいは恒久的な障害をもたらす状態	劣化	A: 健全な状態 B: 軽微な劣化がある状態 C: 重度の劣化がある状態 D: 最重要部材に重度の劣化がある状態		
特記事項					
【安全領域】					
点検項目		点検器具	判定	写真No	備考
全方向(落下高さ600mm以下の時、全方向1,500mm以上、全領域重複可)		メジャー	1 否	2	側溝近接
上部空間、1,800mm以上		メジャー	1 合		
コンクリート・アスファルトなどの固い設置面でない		目視	3 合		
くぼみ・段差・石ころなどの障害物がないこと		目視	1 否	3	石あり
【規準一般】					
点検項目		点検器具	判定	写真No	備考
① 頭部・胴体の挟み込み(100~230mm)		器具AB	2 合		
ハザードレベル3に該当する箇所がないこと		器具AB	3 合		
② 頭部または首の挟み込み(V字型開口部)		器具AB	3 合		
③ 指の挟み込み(φ8~25mm)		器具C	2 合		
④ 絡まり・引っ掛かり(突出部や隙間)		目視	2 合		
⑤ 衝突・転倒(突出部や段差)		目視	1 合		
衝突転倒が想定される場合、衝撃緩和への配慮		目視	2 合		
⑥ ボルト・ナット類による突起(引っ掛かり防止対策)		目視	1 合		
直接衝突の危険がある、ボルト・ナット類の突出対策		目視	2 合		
⑦ 鋭利な尖端・角・縁		目視触診	1 合		
⑧ 転落・落下 ガードレール		メジャー	1 合		
⑩ 救助対策		目視	1 合		
⑪ 基礎の設計(基礎の天端 土かぶり100mm以上)		メジャー	1 合		
基礎の露出がないこと		目視	2 合		
ハザードレベル3に該当する箇所がないこと		目視	3 合		
【劣化】					
本体部					
点検項目		点検器具	判定	写真No	備考
腐食がないか		目視打診	A		
摩耗がないか		目視触診	B	4	摩耗あり
ぐらつきがないか		揺診	A		
破損など		目視	B	5	破損あり
基礎部					
点検項目		点検器具	判定	写真No	備考
ぐらつきがないか(全数点検)		揺診	A		
衝撃吸収材などの破損		目視	A		

動物(固定型)定期点検表

管理番号 32

製品名	動物置物(サカナ、西側入口脇)	所在施設名	鹿沼公園	住所	中央区鹿沼台2丁目15番
点検社				点検日	2025年12月15日
点検者				確認者	
製造者	不明	SPシール	無・有()	製造番号	
設置年月	年 月	経過年月	年 月	最大落下高さ	660 mm
構造部材1	コンクリート	構造部材2		消耗部材	
対象年齢シール	無・有	対象年齢	1歳~3歳・3歳~6歳・6歳~12歳・3歳~12歳・大人		

I. 機能に関する総合判定		II. 塗装に関する総合判定	
使用継続	A: 健全であり、修繕の必要がない B: 部分的に異常があり、部分修繕が必要 C: 重要な箇所部分的に異常があり、部分修繕が必要 D: 最重要部材等に異常があり、大規模な修繕または破棄し更新が必要	A: 再塗装の必要がない B: 部分的に塗装が必要 C: 全体的に塗装が必要	
可・不可			

ハザード	0: 傷害をもたらす物的ハザードがない状態 1: 軽度の傷害をもたらす状態 2: 重大であるが傷害が恒久的ではない状態 3: 生命に危険があるか、重度の傷害あるいは恒久的な障害をもたらす状態	劣化	A: 健全な状態 B: 軽微な劣化がある状態 C: 重度の劣化がある状態 D: 最重要部材に重度の劣化がある状態
------	--	----	---

特記事項
側溝近接
杭の突起に衝突の恐れあり

【安全領域】				
点検項目	点検器具	判定	写真No	備考
全方向(落下高さ600mmを超える時、全方向1,800mm以上、1/2重複可)	メジャー	2 否	2	側溝近接
上部空間、1,800mm以上	メジャー	1 合		
コンクリート・アスファルトなどの固い設置面でない	目視	3 合		
くぼみ・段差・石ころなどの障害物がないこと	目視	1 合		

【規準一般】				
点検項目	点検器具	判定	写真No	備考
① 頭部・胴体の挟み込み(100~230mm)	器具AB	2 合		
ハザードレベル3に該当する箇所がないこと	器具AB	3 合		
② 頭部または首の挟み込み(V字型開口部)	器具AB	3 合		
③ 指の挟み込み(φ8~25mm)	器具C	2 合		
④ 絡まり・引っ掛かり(突出部や隙間)	目視	2 合		
⑤ 衝突・転倒(突出部や段差)	目視	1 合		
衝突転倒が想定される場合、衝撃緩和への配慮	目視	2 合		
⑥ ボルト・ナット類による突起(引っ掛かり防止対策)	目視	1 合		
直接衝突の危険がある、ボルト・ナット類の突出対策	目視	2 否	3	杭の突起に衝突の恐れあり
⑦ 鋭利な尖端・角・縁	目視触診	1 合		
⑧ 転落・落下 ガードレール	メジャー	1 合		
⑩ 救助対策	目視	1 合		
⑪ 基礎の設計(基礎の天端 土かぶり100mm以上)	メジャー	1 合		
基礎の露出がないこと	目視	2 合		
ハザードレベル3に該当する箇所がないこと	目視	3 合		

【劣化】				
本体部				
点検項目	点検器具	判定	写真No	備考
腐食がないか	目視打診	A		
摩耗がないか	目視触診	B	4	摩耗あり
ぐらつきがないか	揺診	A		
破損など	目視	B	5	破損あり

基礎部				
点検項目	点検器具	判定	写真No	備考
ぐらつきがないか(全数点検)	揺診	A		
衝撃吸収材などの破損	目視	A		

点検写真台帳

所在施設名	1	鹿沼公園	エリア			点検日	2025年12月15日
製品名	1	3間低鉄棒			総合	ハザード	劣化
					B	否2	B
1/2ページ							

写真No.		全景	判定
1			-



写真No.	握り棒の前後方向、	安全領域	判定
2	規準適合		合



写真No.	その他方向	安全領域	判定
3	規準適合		合



写真No.	直接衝突の危険がある、ボルト・ナット類の突出対策	規準一般	判定
4	継手金具 ボルトの突起に衝突の恐れあり		否2



写真No.	基礎の設計	規準一般	判定
5	基礎土被り不足(60mm)		否1



写真No.	構造部材 支柱部	劣化	判定
6	発錆あり		B



点検写真台帳

所在施設名	1	鹿沼公園	エリア			点検日	2025年12月15日
製品名	1	3間低鉄棒			総合	ハザード	劣化
					B	否2	B
2/2ページ							

写真No.	構造部材 支柱部	劣化	判定
7	発錆あり		B



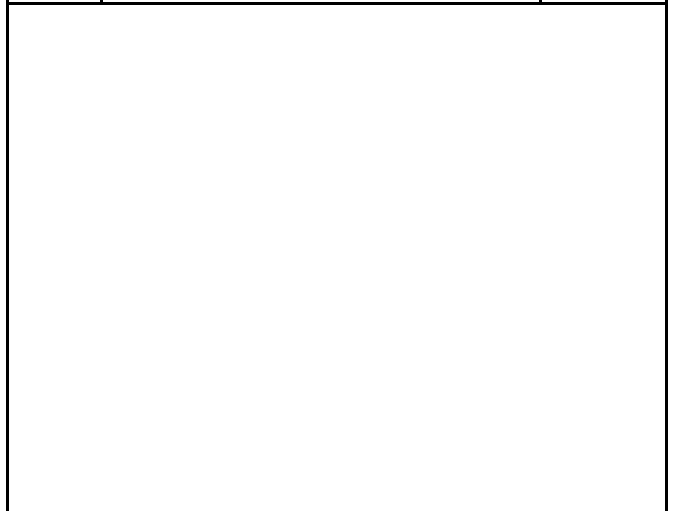
写真No.	構造部材 握り棒部	劣化	判定
8	発錆あり		B



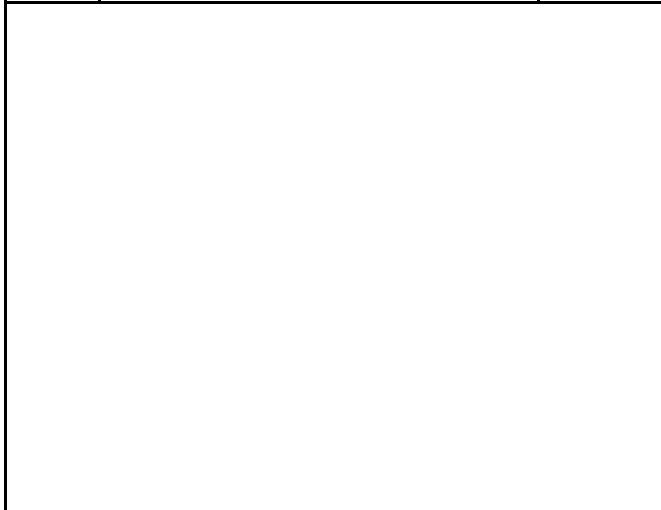
写真No.	構造部材 継手金具	劣化	判定
9	発錆あり		B



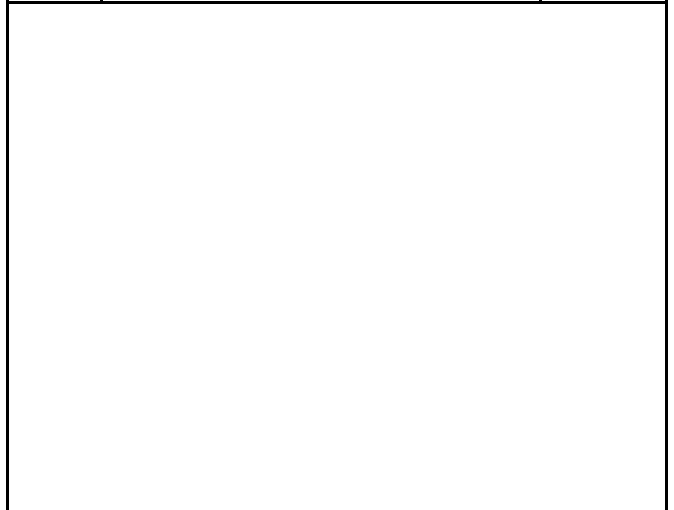
写真No.			判定



写真No.			判定



写真No.			判定



塗装状態(景観)写真台帳

所在施設名	1	鹿沼公園	エリア		点検日	2025年12月15日
製品名	1	3間低鉄棒			塗装判定	C



点検写真台帳

所在施設名	1	鹿沼公園	エリア		点検日	2025年12月15日	
製品名	2	ジャングルジム			総合	ハザード	劣化
					B	否2	B
1/2ページ							

写真No.		全景	判定
1			-



写真No.		対象年齢シール	判定
2			-



写真No.	全方向（落下高さ600mm超・全方向1800mm以上・1/2領域重複可）	安全領域	判定
3	標準適合		合



写真No.	くぼみ・段差・石ころなどの障害物がないこと	安全領域	判定
4	石散乱		否1



写真No.	くぼみ・段差・石ころなどの障害物がないこと	安全領域	判定
5	木の根あり		否1



写真No.	直接衝突の危険がある、ボルト・ナット類の突出対策	標準一般	判定
6	接合部 ボルトの突起に衝突の恐れあり		否2



点検写真台帳

所在施設名	1	鹿沼公園	エリア			点検日	2025年12月15日
製品名	2	ジャングルジム			総合	ハザード	劣化
					B	否2	B

2/2ページ

写真No.	基礎の設計	規準一般	判定
7	基礎土被り不足 (80mm)		否1



写真No.	構造部材 縦部材	劣化	判定
8	発錆あり		B



写真No.	構造部材 縦部材	劣化	判定
9	発錆あり		B



写真No.	構造部材 横架材	劣化	判定
10	発錆あり		B



写真No.	構造部材 接合部	劣化	判定
11	発錆あり		B



写真No.	構成部材による開口部 (400mm以上)	規準	判定
12	構成部材による開口部 (400mm以上)		合



塗装状態(景観)写真台帳

所在施設名	1	鹿沼公園	エリア		点検日	2025年12月15日
製品名	2	ジャングルジム			塗装判定	C



点検写真台帳

所在施設名	1	鹿沼公園	エリア		点検日	2025年12月15日	
製品名	3	スプリング遊具 (トリ)			総合	ハザード	劣化
					B	否2	B
							1/2ページ

写真No.	全景	判定
1		-



写真No.	対象年齢シール	判定
2		-



写真No.	SPシール	判定
3		-



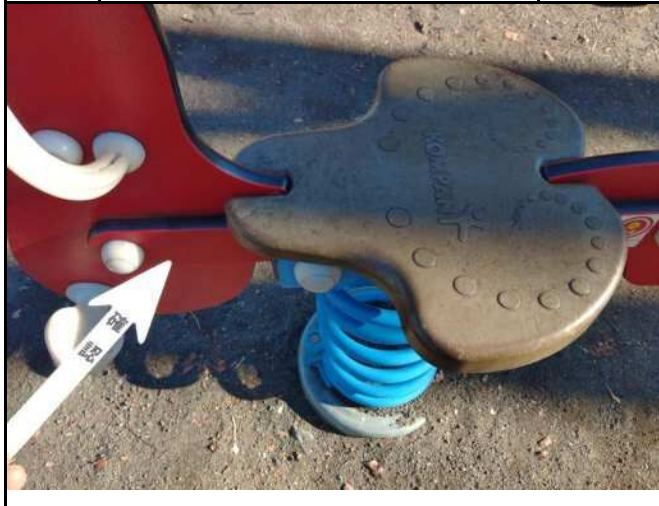
写真No.	全方向	安全領域	判定
4	規準適合		合



写真No.	消耗部材	スプリング部	劣化	判定
5	発錆あり			B



写真No.	上物部	劣化	判定
6			確認



点検写真台帳

所在施設名	1	鹿沼公園	エリア			点検日	2025年12月15日
製品名	3	スプリング遊具（トリ）			総合	ハザード	劣化
					B	否2	B
2/2ページ							

写真No.	台座部	劣化	判定
7			確認



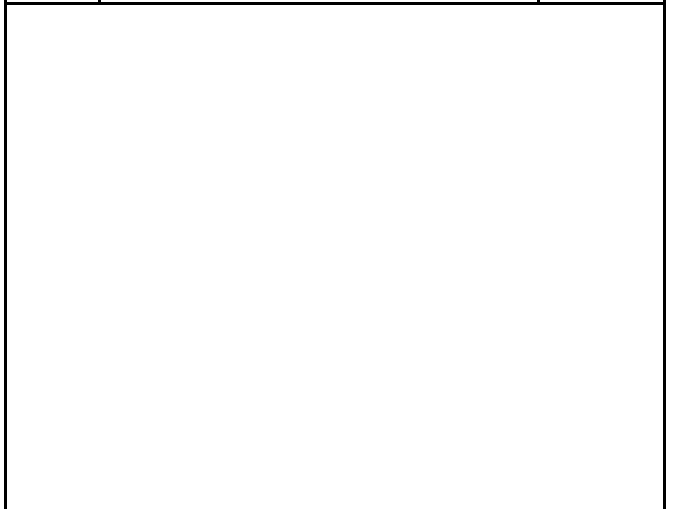
写真No.	スプリング	規準	判定
8	利用時に手足や指が挟まらない構造とする（中間部）		合



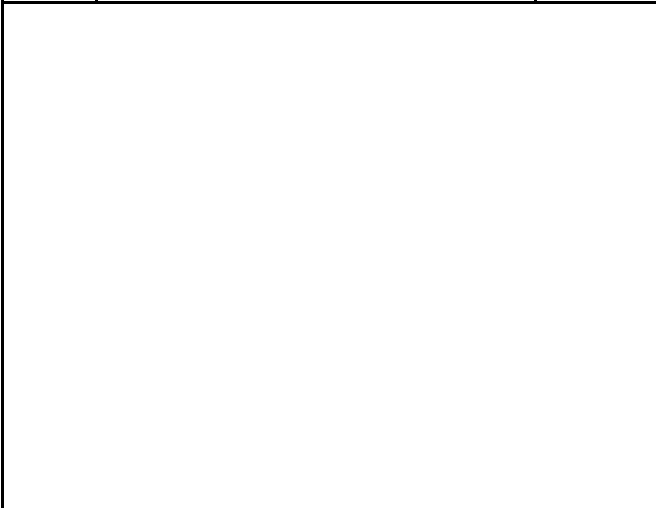
写真No.	スプリング	規準	判定
9	利用時に手足や指が挟まらない構造とする（固定部）		否2



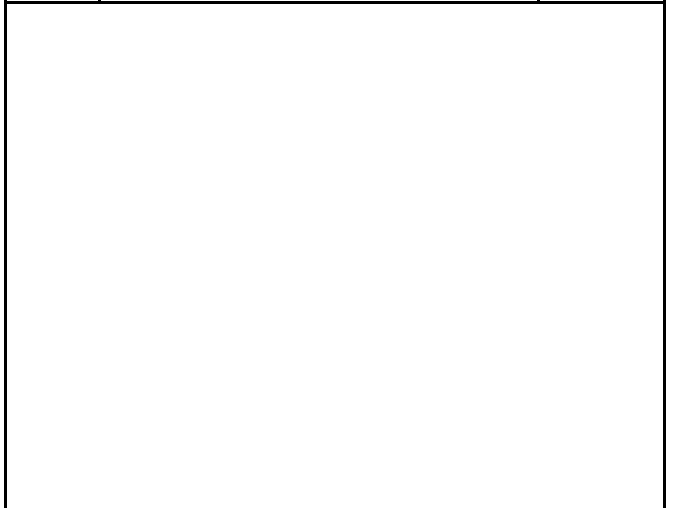
写真No.			判定



写真No.			判定



写真No.			判定



塗装状態(景観)写真台帳

所在施設名	1	鹿沼公園	エリア		点検日	2025年12月15日
製品名	3	スプリング遊具(トリ)			塗装判定	A



点検写真台帳

所在施設名	1	鹿沼公園	エリア		点検日	2025年12月15日
製品名	5	コンクリートすべり台	総合	ハザード	劣化	1/2ページ
			C	否3	C	

写真No.	全景	判定
1		-



写真No.	安全領域	判定
2	標準適合	合



写真No.	くぼみ・段差・石ころなどの障害物がないこと	安全領域	判定
3	石散乱		否1



写真No.	ハザードレベル3に該当する箇所がないこと	標準一般	判定
4	部材間 頭部挟み込みの恐れあり		否3



写真No.	コンクリート 本体部	劣化	判定
5	摩耗あり		B



写真No.	コンクリート 本体部	劣化	判定
6	亀裂あり		C



点検写真台帳

所在施設名	1	鹿沼公園	エリア			点検日	2025年12月15日
製品名	5	コンクリートすべり台			総合	ハザード	劣化
					C	否3	C
							2/2ページ

写真No.	コンクリート 本体部	劣化	判定
7	破損あり		C



写真No.	コンクリート 本体部	劣化	判定
8	破損あり		C



写真No.	コンクリート 本体部	劣化	判定

写真No.	コンクリート 本体部	劣化	判定

写真No.	コンクリート 本体部	劣化	判定

写真No.	コンクリート 本体部	劣化	判定

点検写真台帳

所在施設名	1	鹿沼公園	エリア		点検日	2025年12月15日
製品名	6	4連ブランコ			総合	1/5ページ
					ハザード	劣化
					D	D

写真No.	全景	判定
1		-



写真No.	運動方向、着座部が飛び出し可の時	安全領域	判定
2	ブランコ柵近接		否2



写真No.	その他方向、着座部の外側から	安全領域	判定
3	ブランコ柵近接		否2



写真No.	その他方向、柱の外側から	安全領域	判定
4	ブランコ柵近接		否2



写真No.	境界柵があるか	安全領域	判定
5	規準適合		合



写真No.	直接衝突の危険がある、ボルト・ナット類の突出対策	規準一般	判定
6	杭突起に衝突の恐れあり		否2



点検写真台帳

所在施設名	1	鹿沼公園	エリア			点検日	2025年12月15日
製品名	6	4連ブランコ			総合	ハザード	劣化
					D	否2	D

2/5ページ

写真No.	基礎の設計	規準一般	判定
7	基礎土被り不足(±0mm)		否1



写真No.	基礎の露出がないこと	規準一般	判定
8	基礎露出(1箇所)		否2



写真No.	構造部材 支柱部	劣化	判定
9	発錆あり		B



写真No.	構造部材 支柱部	劣化	判定
10	発錆あり		B



写真No.	構造部材 梁部	劣化	判定
11	発錆あり		B



写真No.	構造部材 梁部	劣化	判定
12	発錆あり		B



点検写真台帳

所在施設名	1	鹿沼公園	エリア			点検日	2025年12月15日
製品名	6	4連ブランコ			総合	ハザード	劣化
					D	否2	D

3/5ページ

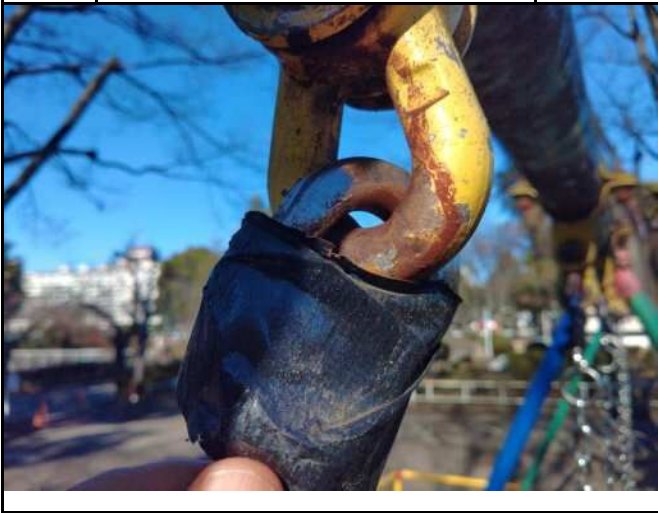
写真No.	構造部材 継手金具	劣化	判定
13	腐食あり		C



写真No.	消耗部材 吊り金具	劣化	判定
14	発錆あり		B



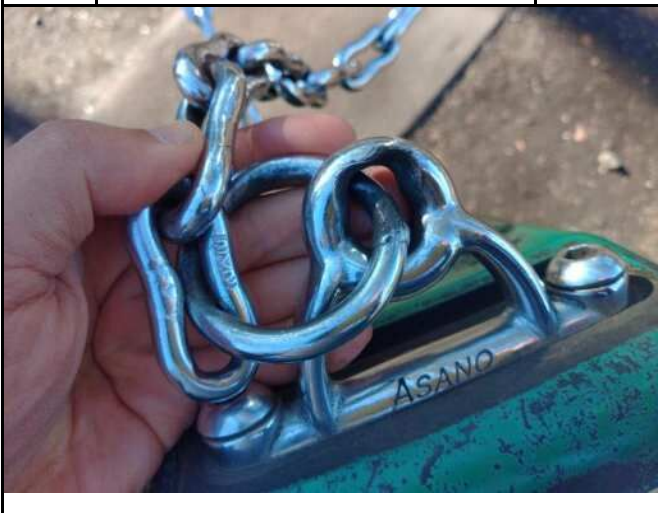
写真No.	消耗部材 吊り金具	劣化	判定
15	摩耗あり		B



写真No.	消耗部材 吊り部材	劣化	判定
16	摩耗あり		D



写真No.	消耗部材 吊り部材	劣化	判定
17	摩耗あり		D



写真No.	消耗部材 吊り部材	劣化	判定
18	摩耗あり		D



点検写真台帳

所在施設名	1	鹿沼公園	エリア			点検日	2025年12月15日
製品名	6	4連ブランコ			総合	ハザード	劣化
					D	否2	D

4/5ページ

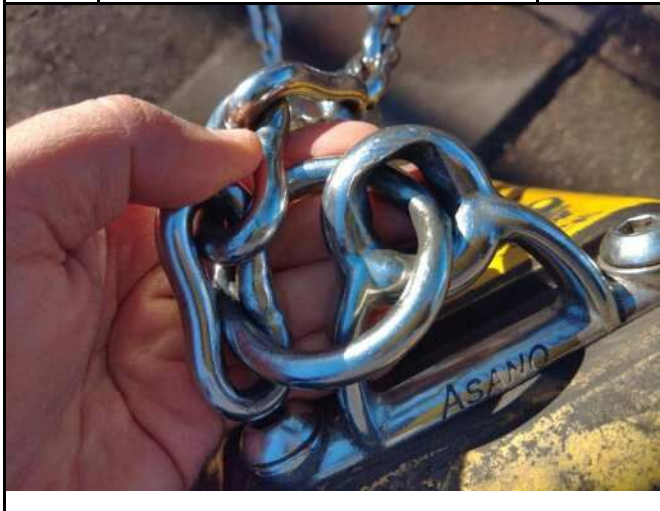
写真No.	消耗部材 吊り部材	劣化	判定
19	摩耗あり		D



写真No.	消耗部材 吊り部材	劣化	判定
20	摩耗あり		D



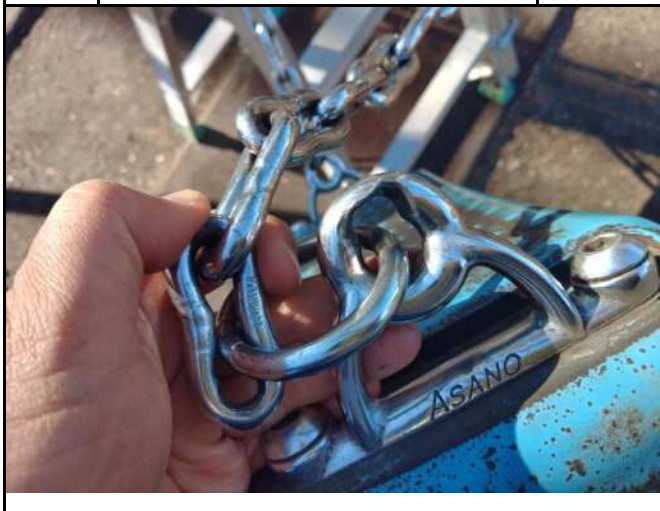
写真No.	消耗部材 吊り部材	劣化	判定
21	摩耗あり		D



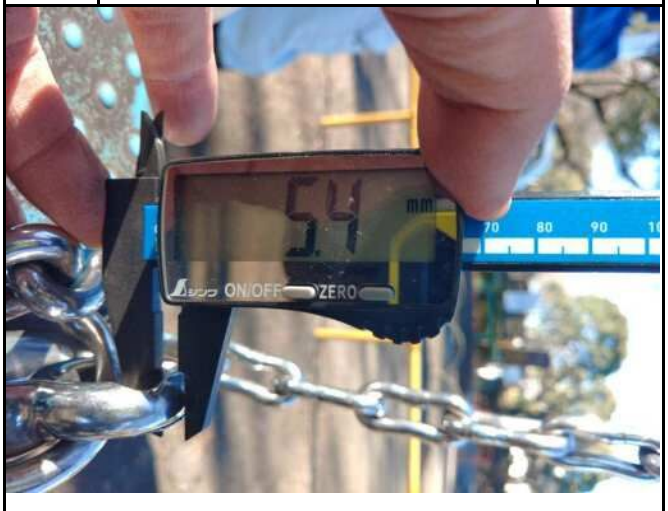
写真No.	消耗部材 吊り部材	劣化	判定
22	摩耗あり		D



写真No.	消耗部材 吊り部材	劣化	判定
23	摩耗あり		D



写真No.	消耗部材 吊り部材	劣化	判定
24	磨耗 5.4mm/11.7mm (磨耗率:53.9%)		D



点検写真台帳

所在施設名	1	鹿沼公園	エリア			点検日	2025年12月15日
製品名	6	4連ブランコ	総合	ハザード	劣化	5/5ページ	
			D	赤2	D		

写真No.	消耗部材 吊り部材	劣化	判定
25	磨耗 5.4mm/11.7mm(磨耗率:53.9%)		D



写真No.	消耗部材 着座部	劣化	判定
26	汚損あり		B



写真No.	着座型	規準	判定
27	柔らかい材質又は覆われて、底面・側面は突起物が露出しない構造		合



写真No.	着座型	規準	判定
28	スイングクリアランス		合



写真No.	揺動部	規準	判定
29	吊り部材同士・支柱との間隔		合



写真No.	注油	別途作業	判定
30			済



塗装状態(景観)写真台帳

所在施設名	1	鹿沼公園	エリア		点検日	2025年12月15日
製品名	6	4連ブランコ			塗装判定	C



点検写真台帳

所在施設名	1	鹿沼公園	エリア		点検日	2025年12月15日	
製品名	7	ブランコ境界柵			総合	ハザード	劣化
					B	否2	B
1/2ページ							

写真No.	全景	判定
1		—



写真No.	境界柵は、安全領域内に設置してはならない	安全領域	判定
2	安全領域内設置		否2



写真No.	構造部材 支柱部	劣化	判定
3	発錆あり		B



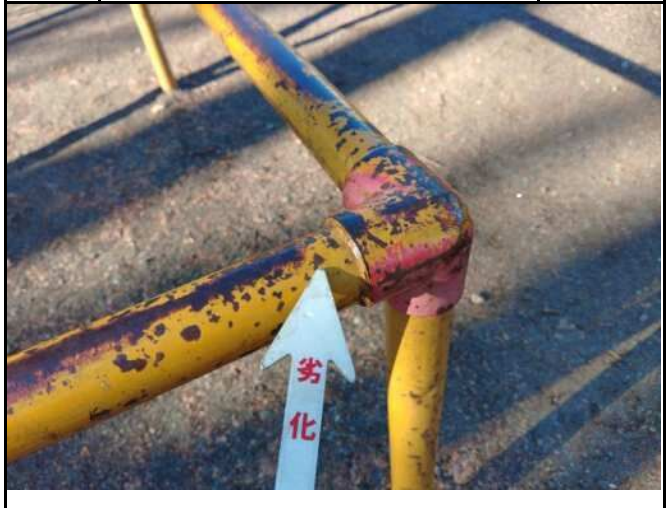
写真No.	構造部材 支柱部	劣化	判定
4	発錆あり		B



写真No.	構造部材 支柱部	劣化	判定
5	変形あり		B



写真No.	構造部材 横架材	劣化	判定
6	発錆あり		B



点検写真台帳

所在施設名	1	鹿沼公園	エリア			点検日	2025年12月15日
製品名	7	ブランコ境界柵			総合	ハザード	劣化
					B	否2	B

2/2ページ

写真No.	構造部材 横架材	劣化	判定
7	発錆あり		B



写真No.	構造部材 継手金具	劣化	判定
8	発錆あり		B



写真No.	基礎の設計	規準一般	判定
9	基礎土被り不足(30mm)		否1



写真No.	境界柵	規準	判定
10	設置面から横架材上面までの高さ		否1



写真No.			判定

写真No.			判定

塗装状態(景観)写真台帳

所在施設名	1	鹿沼公園	エリア		点検日	2025年12月15日
製品名	7	ブランコ境界柵			塗装判定	C



点検写真台帳

所在施設名	1	鹿沼公園	エリア			点検日	2025年12月15日
製品名	8	丸型砂場			総合 C	ハザード 合	劣化 C

1/1ページ

写真No.		全景	判定
1			-



写真No.	<small>全方向（落下高さ220mm以下・全方向500mm以上・全領域可）</small>	安全領域	判定
2	標準適合		合



写真No.	構造部材 砂場枠	劣化	判定
3	隙間あり		B



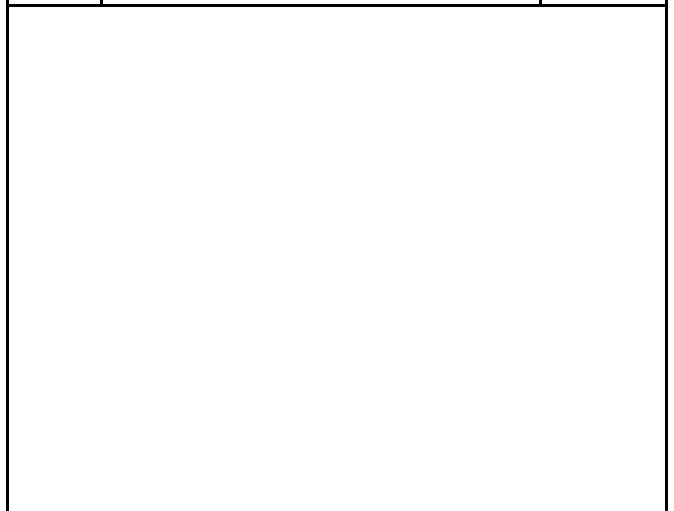
写真No.	消耗部材 砂	劣化	判定
4	枯葉混入		C



写真No.	消耗部材 砂	劣化	判定
5	砂 220mm減少（基準値220mm以下）		B



写真No.			判定



点検写真台帳

所在施設名	1	鹿沼公園	エリア			点検日	2025年12月15日
製品名	9	並列すべり台			総合	ハザード	劣化
					B	否1	B
1/4ページ							

写真No.		全景	判定
1			-



写真No.		対象年齢シール	判定
2			-



写真No.	滑り降り口方向	安全領域	判定
3	規準適合		合



写真No.	その他方向、落下高さ600mmを超える時、1800mm以上1/2領域重畳可	安全領域	判定
4	規準適合		合



写真No.	くぼみ・段差・石ころなどの障害物がないこと	安全領域	判定
5	石散乱		否1



写真No.	基礎の設計	規準一般	判定
6	規準適合		合



点検写真台帳

所在施設名	1	鹿沼公園	エリア			点検日	2025年12月15日
製品名	9	並列すべり台			総合	ハザード	劣化
					B	否1	B

2/4ページ

写真No.	構造部材 登行部	劣化	判定
7	発錆あり		B



写真No.	構造部材 登行部	劣化	判定
8	発錆あり		B



写真No.	構造部材 登行部	劣化	判定
9	発錆あり		B



写真No.	構造部材 出発部(踊り場)	劣化	判定
10	発錆あり		B



写真No.	構造部材 出発部(踊り場)	劣化	判定
11	発錆あり		B



写真No.	構造部材 出発部(踊り場)	劣化	判定
12	摩耗あり		B



点検写真台帳

所在施設名	1	鹿沼公園	エリア			点検日	2025年12月15日
製品名	9	並列すべり台			総合	ハザード	劣化
					B	否1	B
3/4ページ							

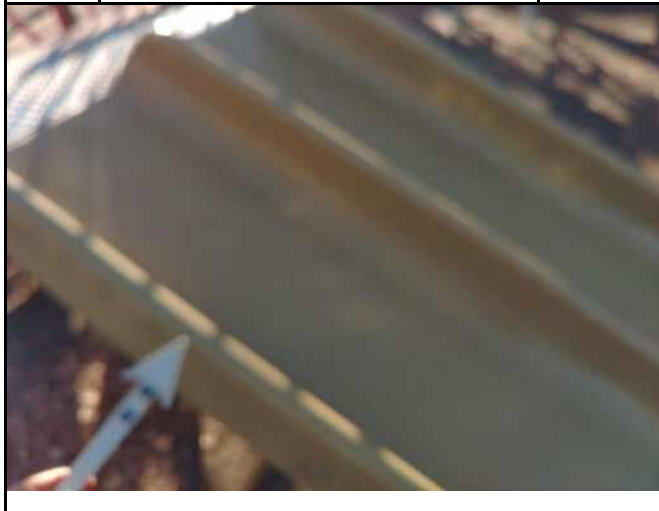
写真No.	構造部材 支柱	劣化	判定
13	発錆あり		B



写真No.	消耗部材 滑降部	劣化	判定
14	発錆あり		B



写真No.	消耗部材 滑降部	劣化	判定
15			確認



写真No.	消耗部材 滑降部	劣化	判定
16	焦げ跡あり		B



写真No.	緩衝材 安全マット	劣化	判定
17	摩耗あり		B



写真No.	出発部	規準	判定
18	着座姿勢に導くガイドバーを設ける (落下高さ>600の時)		合



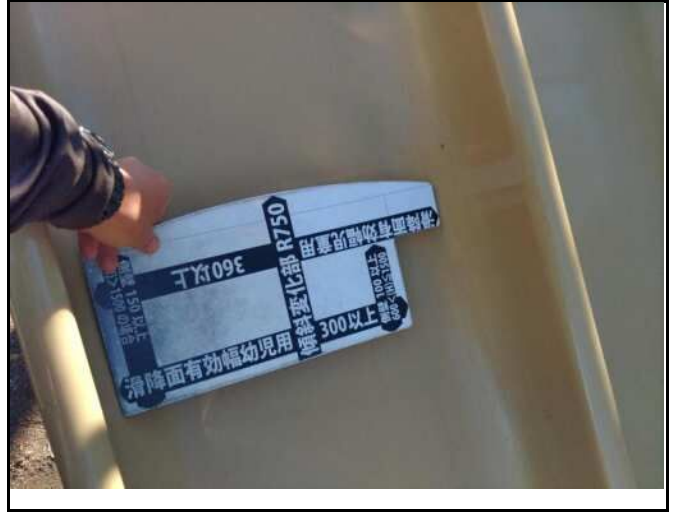
点検写真台帳

所在施設名	1	鹿沼公園	エリア			点検日	2025年12月15日
製品名	9	並列すべり台			総合	ハザード	劣化
					B	否1	B
4/4ページ							

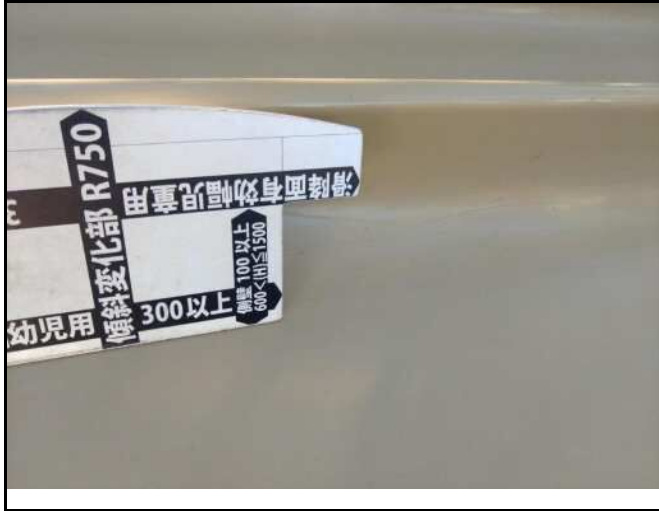
写真No.	出発部	規準	判定
19	出発部と滑降部との継ぎ目は有害な隙間の無いこと		合



写真No.	滑降面	規準	判定
20	有効幅		合



写真No.	側壁	規準	判定
21	側壁の高さ 落下高さ>1500mmの時、側壁の高さ150mm以上		合



写真No.	減速部	規準	判定
22	減速部の末端は丸みをつけるか、曲面で仕上げる		合



写真No.	減速部	規準	判定
23	傾斜変化部の曲率半径		合



写真No.	減速部	規準	判定
24	着地面から終端上端部までの高さ 幼児用100~300mm		合



塗装状態(景観)写真台帳

所在施設名	1	鹿沼公園	エリア		点検日	2025年12月15日
製品名	9	並列すべり台			塗装判定	C



点検写真台帳

所在施設名	1	鹿沼公園	エリア			点検日	2025年12月15日
製品名	10	動物置物（ウサギ、カートコース側）	総合	ハザード	劣化	1/1ページ	
			B	否1	B		

写真No.	全景	判定
1		-



写真No.	安全領域	判定
2	規準適合	合



写真No.	くぼみ・段差・石ころなどの障害物がないこと	安全領域	判定
3	ガラあり		否1



写真No.	本体部	劣化	判定
4			確認



写真No.	本体部	劣化	判定
5	摩耗あり		B



写真No.	本体部	劣化	判定
6	破損あり		B




点検写真台帳

所在施設名	1	鹿沼公園	エリア			点検日	2025年12月15日	
製品名	11	動物置物（ウサギ、砂場側）			総合 B	ハザード 合	劣化 B	1/1ページ

写真No.		全景	判定
1			-
			

写真No.	<small>全方向(落下高さ600mm以下の時、全方向1,500mm以上、全領域重複可)</small>	安全領域	判定
2	標準適合		合
			

写真No.	本体部	劣化	判定
3			確認
			

写真No.	本体部	劣化	判定
4	摩耗あり		B
			

写真No.			判定

写真No.			判定

点検写真台帳

所在施設名	1	鹿沼公園	エリア			点検日	2025年12月15日
製品名	12	動物置物（ラクダ、カートコース側）			総合	ハザード	劣化
					B	否1	B
							1/1ページ

写真No.		全景	判定
1			-



件名 公園等遊具点検委託
 現場名 鹿沼公園
 点検中
 実施者 株式会社トレッサーボックス

写真No.		安全領域	判定
2	標準適合		合




写真No.		安全領域	判定
3	くぼみ・段差・石ころなどの障害物がないこと 石あり		否1



写真No.	本体部	劣化	判定
4			確認



写真No.	本体部	劣化	判定
5	摩耗あり		B



写真No.			判定

点検写真台帳

所在施設名	1	鹿沼公園	エリア			点検日	2025年12月15日
製品名	13	動物置物（ラクダ、パーゴラ脇）			総合	ハザード	劣化
					B	否1	B
							1/1ページ

写真No.	全景	判定
1		-



写真No.	安全領域	判定
2	標準適合	合



写真No.	くぼみ・段差・石ころなどの障害物がないこと	安全領域	判定
3	ガラあり		否1



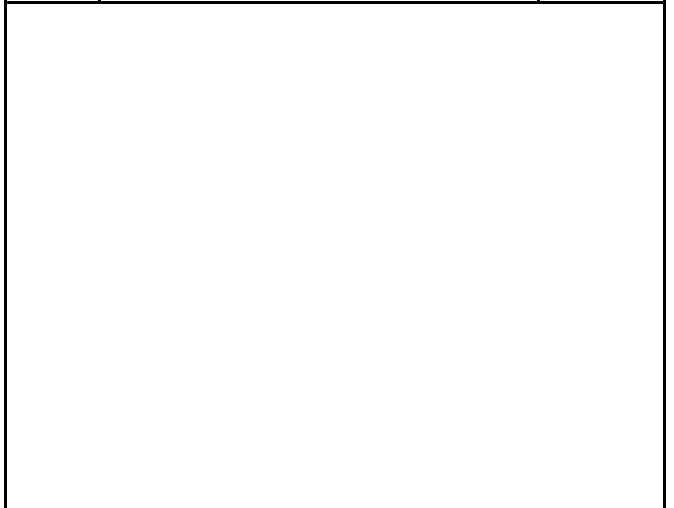
写真No.	本体部	劣化	判定
4			確認



写真No.	本体部	劣化	判定
5	破損あり		B



写真No.	判定



点検写真台帳

所在施設名	1	鹿沼公園	エリア			点検日	2025年12月15日
製品名	14	動物置物（クジラ、東）			総合	ハザード	劣化
					B	合	B
							1/1ページ

写真No.	全景	判定
1		-



写真No.	安全領域	判定
2	標準適合	合



写真No.	本体部	劣化	判定
3			確認



写真No.	本体部	劣化	判定
4	破損あり		B



写真No.	判定



写真No.	判定



点検写真台帳

所在施設名	1	鹿沼公園	エリア			点検日	2025年12月15日
製品名	15	動物置物（クジラ、西）			総合	ハザード	劣化
					B	否1	B
							1/1ページ

写真No.	全景	判定
1		-



写真No.	安全領域	判定
2	標準適合	合



写真No.	安全領域	判定
3	くぼみ・段差・石ころなどの障害物がないこと 木の根あり	否1



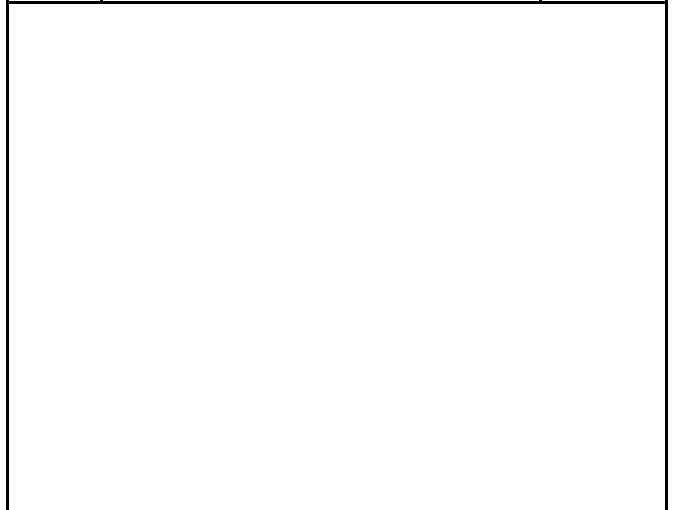
写真No.	本体部	劣化	判定
4			確認



写真No.	本体部	劣化	判定
5	摩耗あり		B



写真No.	判定



点検写真台帳

所在施設名	1	鹿沼公園	エリア			点検日	2025年12月15日
製品名	16	動物置物 (クマ、青)			総合	ハザード	劣化
					B	否1	A
1/1ページ							

写真No.		全景	判定
1			-



写真No.		安全領域	判定
2	標準適合		合



写真No.	くぼみ・段差・石ころなどの障害物がないこと	安全領域	判定
3	ガラあり		否1



写真No.	本体部	劣化	判定
4			確認



写真No.			判定



写真No.			判定



点検写真台帳

所在施設名	1	鹿沼公園	エリア			点検日	2025年12月15日
製品名	17	動物置物（クマ、緑）			総合	ハザード	劣化
					B	否1	B
1/1ページ							

写真No.		全景	判定
1			-



写真No.		安全領域	判定
2	標準適合		合



写真No.	くぼみ・段差・石ころなどの障害物がないこと	安全領域	判定
3	ガラあり		否1



写真No.	本体部	劣化	判定
4			確認



写真No.	本体部	劣化	判定
5	破損あり		B




写真No.			判定


点検写真台帳

所在施設名	1	鹿沼公園	エリア			点検日	2025年12月15日
製品名	18	動物置物 (カメ)			総合	ハザード	劣化
					B	合	B
							1/1ページ

写真No.		全景	判定
1			-
			

写真No.	本体部	劣化	判定
2			確認
			

写真No.	本体部	劣化	判定
3	摩耗あり		B
			

写真No.	本体部	劣化	判定
4	亀裂あり		B
			

写真No.			判定

写真No.			判定

点検写真台帳

所在施設名	1	鹿沼公園	エリア			点検日	2025年12月15日	
製品名	19	動物置物（アシカ）			総合 B	ハザード 合	劣化 B	1/1ページ

写真No.		全景	判定
1			-



写真No.	<small>全方向（落下高さ600mmを超える時、全方向1,800mm以上、1/2重複可）</small>	安全領域	判定
2	規準適合		合



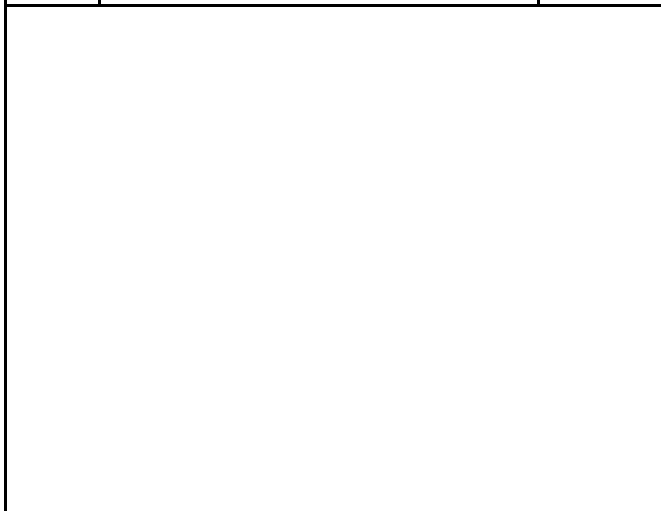
写真No.	本体部	劣化	判定
3			確認



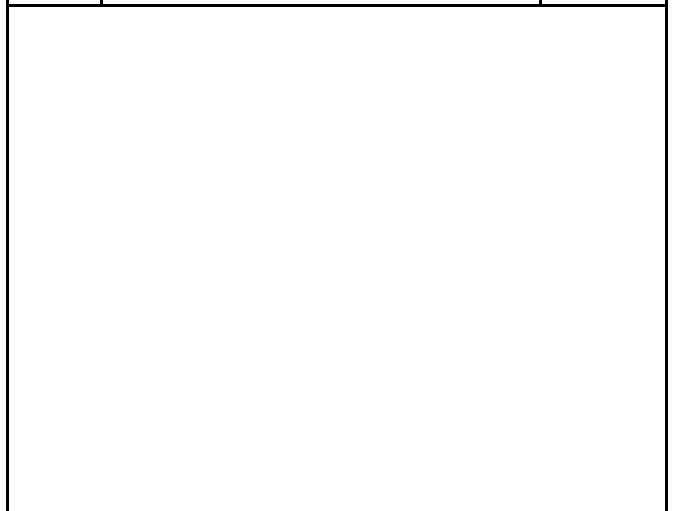
写真No.	本体部	劣化	判定
4	亀裂あり		B



写真No.			判定



写真No.			判定



点検写真台帳

所在施設名	1	鹿沼公園	エリア			点検日	2025年12月15日
製品名	20	動物置物（カニ）			総合	ハザード	劣化
					B	合	B
							1/1ページ

写真No.	全景	判定
1		-



写真No.	安全領域	判定
2	規準適合	合



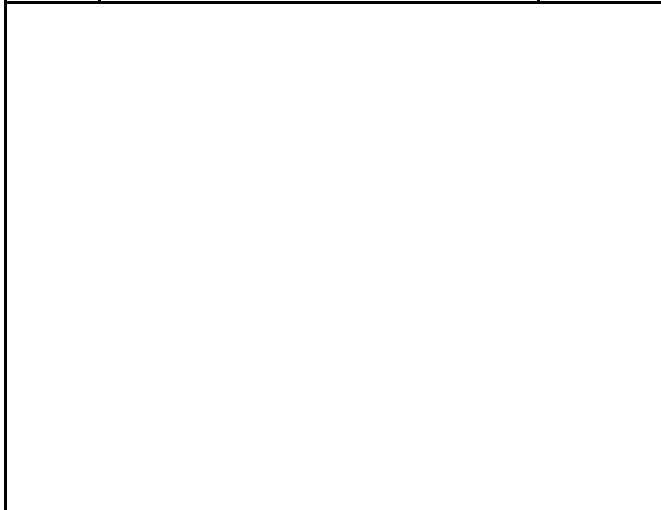
写真No.	本体部	劣化	判定
3			確認



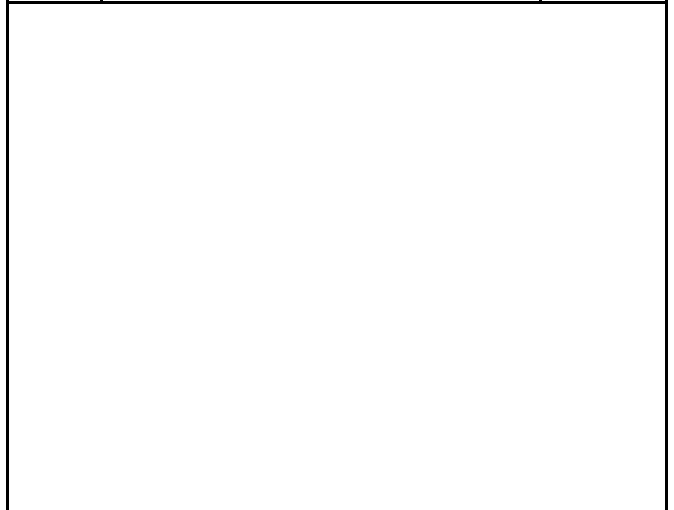
写真No.	本体部	劣化	判定
4	摩耗あり		B



写真No.	判定



写真No.	判定



点検写真台帳

所在施設名	1	鹿沼公園	エリア			点検日	2025年12月15日
製品名	21	動物置物（カニ、西側駐車場脇）			総合	ハザード	劣化
					B	否1	B
							1/1ページ

写真No.	全景	判定
1		-



写真No.	安全領域	判定
2	スツール近接	否1



写真No.	安全領域	判定
3	くぼみ・段差・石ころなどの障害物がないこと 木の根あり	否1



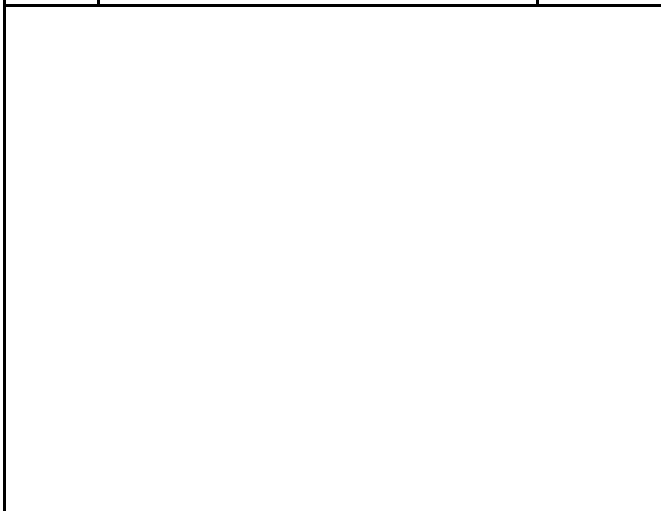
写真No.	本体部	劣化	判定
4			確認



写真No.	本体部	劣化	判定
5	摩耗あり		B



写真No.	判定



点検写真台帳

所在施設名	1	鹿沼公園	エリア			点検日	2025年12月15日
製品名	22	動物置物（タコ、西側駐車場脇）			総合	ハザード	劣化
					C	否2	C
							1/1ページ

写真No.	全景	判定
1		-



写真No.	安全領域	判定
2	スツール近接	否2



写真No.	くぼみ・段差・石ころなどの障害物がないこと	安全領域	判定
3	石あり		否1



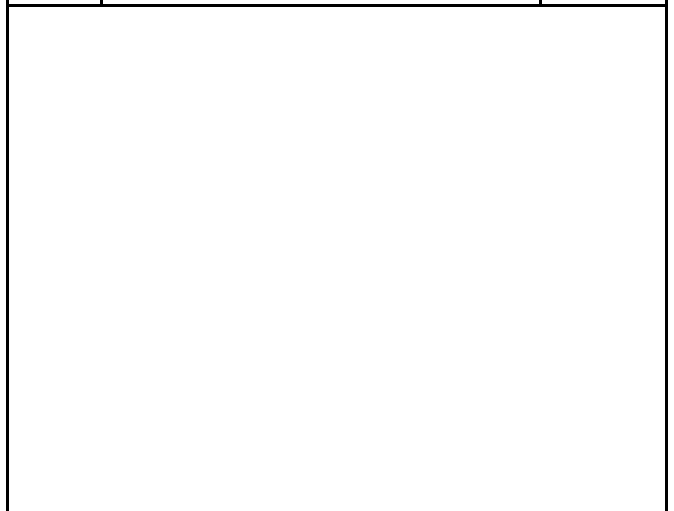
写真No.	本体部	劣化	判定
4	摩耗あり		B



写真No.	本体部	劣化	判定
5	亀裂あり		C



写真No.			判定



点検写真台帳

所在施設名	1	鹿沼公園	エリア		点検日	2025年12月15日
製品名	23	動物置物（白鳥、西側駐車場脇）		総合	ハザード	劣化
				C	否2	C
						1/1ページ

写真No.	全景	判定
1		-



写真No.	安全領域	判定
2	マンホール近接	否2



写真No.	安全領域	判定
3	くぼみ・段差・石ころなどの障害物がないこと 木の根あり	否1



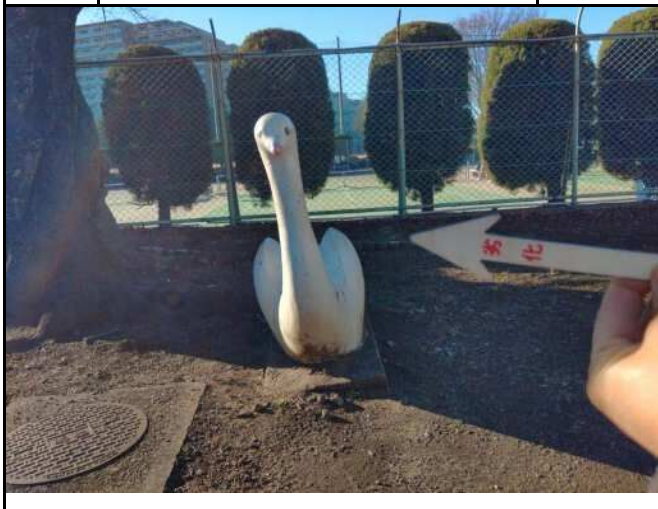
写真No.	本体部	劣化	判定
4	摩耗あり		B



写真No.	本体部	劣化	判定
5	破損あり		B



写真No.	本体部	劣化	判定
6	傾きあり		C



点検写真台帳

所在施設名	1	鹿沼公園	エリア			点検日	2025年12月15日
製品名	24	動物置物（クジラ、北、カートコース脇）	総合	ハザード	劣化	1/1ページ	
			B	否1	B		

写真No.		全景	判定
1			-



写真No.		安全領域	判定
2	規準適合		合



写真No.	くぼみ・段差・石ころなどの障害物がないこと	安全領域	判定
3	木の根あり		否1



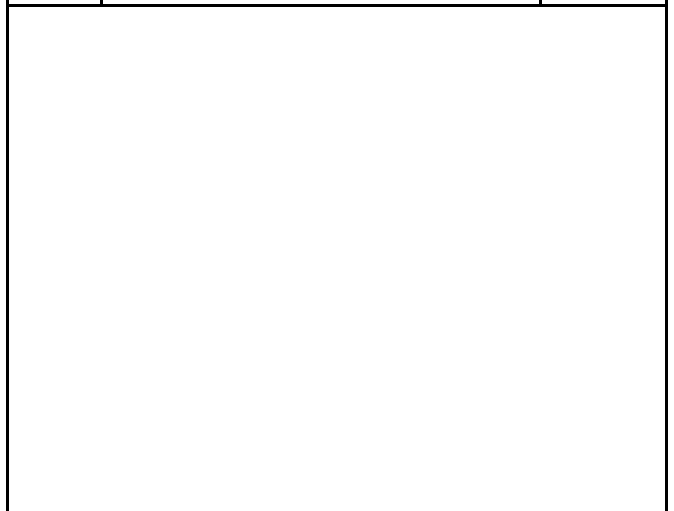
写真No.	本体部	劣化	判定
4	摩耗あり		B



写真No.	本体部	劣化	判定
5	破損あり		B



写真No.			判定



点検写真台帳

所在施設名	1	鹿沼公園	エリア			点検日	2025年12月15日
製品名	25	動物置物（クジラ、南、カートコース脇）	総合	ハザード	劣化	1/1ページ	
			B	否1	B		

写真No.		全景	判定
1			-



写真No.	<small>全方向（落下高さ600mmを超える時、全方向1,800mm以上、1/2重複可）</small>	安全領域	判定
2	規準適合		合



写真No.	くぼみ・段差・石ころなどの障害物がないこと	安全領域	判定
3	木の根あり		否1



写真No.	本体部	劣化	判定
4	摩耗あり		B



写真No.	本体部	劣化	判定
5	破損あり		B




写真No.			判定


点検写真台帳

所在施設名	1	鹿沼公園	エリア			点検日	2025年12月15日	
製品名	26	動物置物 (パンダ、北、カートコース脇)			総合 C	ハザード 合	劣化 C	1/1ページ

写真No.		全景	判定
1			-
			

写真No.		安全領域	判定
2	標準適合		合
			

写真No.	本体部	劣化	判定
3	破損あり		C
			

写真No.	本体部	劣化	判定
4	亀裂あり		B
			

写真No.			判定

写真No.			判定

点検写真台帳

所在施設名	1	鹿沼公園	エリア			点検日	2025年12月15日	
製品名	27	動物置物（パンダ、南、カートコース脇）			総合 C	ハザード 合	劣化 C	1/1ページ

写真No.		全景	判定
1			-
			

写真No.	<small>全方向(落下高さ600mm以下の時、全方向1,500mm以上、全領域重複可)</small>	安全領域	判定
2	標準適合		合
			

写真No.	本体部	劣化	判定
3	破損あり		C
			

写真No.			判定

写真No.			判定

写真No.			判定


点検写真台帳

所在施設名	1	鹿沼公園	エリア			点検日	2025年12月15日
製品名	28	動物置物（タコ、カートコース脇）			総合 C	ハザード 合	劣化 C

1/1ページ

写真No.		全景	判定
1			-
			

写真No.		安全領域	判定
2	標準適合		合
			

写真No.	本体部	劣化	判定
3	摩耗あり		B
			

写真No.	本体部	劣化	判定
4	破損あり		C
			

写真No.			判定

写真No.			判定

点検写真台帳

所在施設名	1	鹿沼公園	エリア			点検日	2025年12月15日
製品名	29	動物置物（白鳥、カートコース脇）			総合	ハザード	劣化
					B	否1	B
							1/1ページ

写真No.	全景	判定
1		-



写真No.	安全領域	判定
2	標準適合	合



写真No.	安全領域	判定
3	くぼみ・段差・石ころなどの障害物がないこと 木の根あり	否1



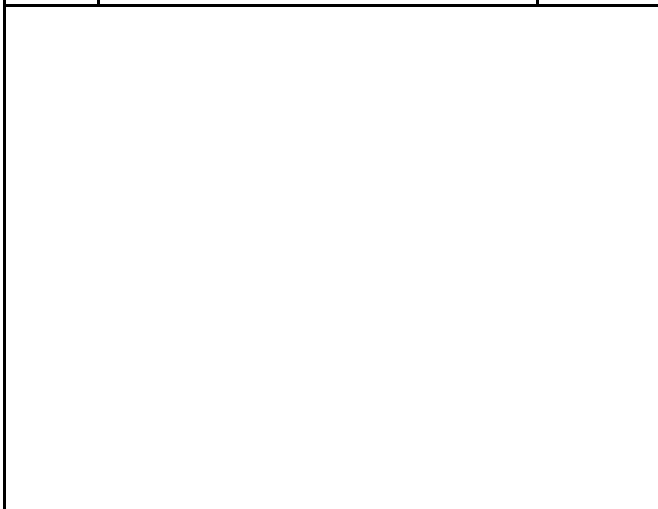
写真No.	本体部	劣化	判定
4	摩耗あり		B



写真No.	本体部	劣化	判定
5	破損あり		B



写真No.	判定



点検写真台帳

所在施設名	1	鹿沼公園	エリア			点検日	2025年12月15日
製品名	30	動物置物（サカナ、カートコース脇）			総合	ハザード	劣化
					B	否1	B
							1/1ページ

写真No.	全景	判定
1		-



写真No.	安全領域	判定
2	標準適合	合



写真No.	安全領域	判定
3	くぼみ・段差・石ころなどの障害物がないこと 木の根あり	否1



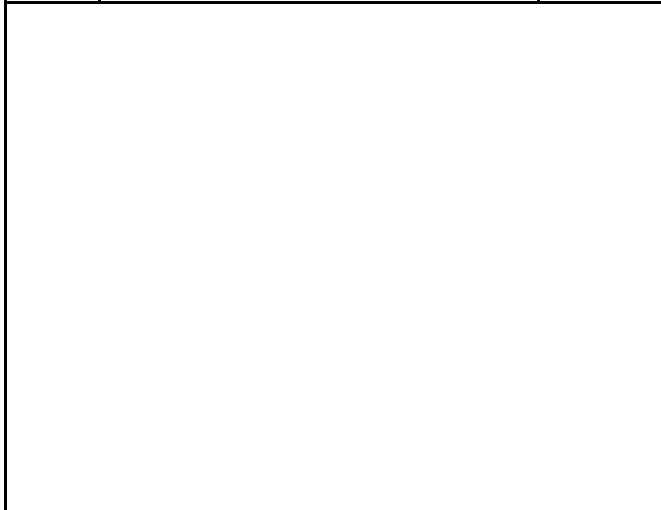
写真No.	本体部	劣化	判定
4	摩耗あり		B



写真No.	本体部	劣化	判定
5	亀裂あり		B



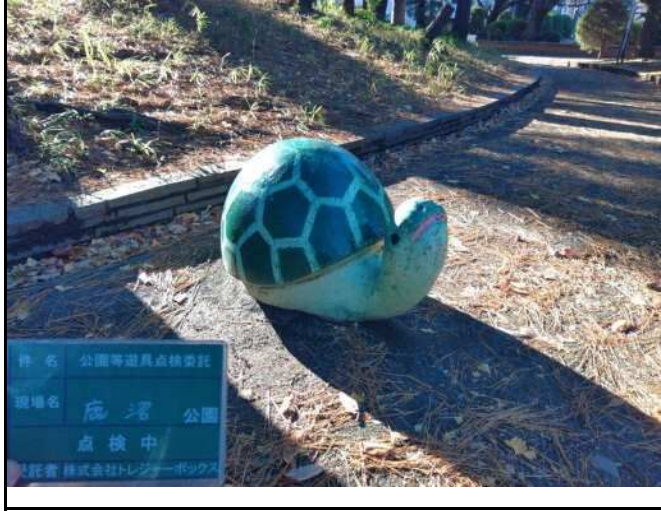
写真No.	判定



点検写真台帳

所在施設名	1	鹿沼公園	エリア			点検日	2025年12月15日
製品名	31	動物置物（カメ、西側入口脇）			総合	ハザード	劣化
					B	否1	B
							1/1ページ

写真No.	全景	判定
1		-



写真No.	安全領域	判定
2	側溝近接	否1



写真No.	安全領域	判定
3	くぼみ・段差・石ころなどの障害物がないこと 石あり	否1



写真No.	本体部	劣化	判定
4	摩耗あり		B



写真No.	本体部	劣化	判定
5	破損あり		B



写真No.	判定

点検写真台帳

所在施設名	1	鹿沼公園	エリア			点検日	2025年12月15日
製品名	32	動物置物（サカナ、西側入口脇）			総合	ハザード	劣化
					B	否2	B
							1/1ページ

写真No.	全景	判定
1		-



写真No.	安全領域	判定
2	側溝近接	否2



写真No.	直接衝突の危険がある、ボルト・ナット類の突出対策	規準一般	判定
3	杭の突起に衝突の恐れあり		否2



写真No.	本体部	劣化	判定
4	摩耗あり		B



写真No.	本体部	劣化	判定
5	破損あり		B



写真No.	判定